

Ⅱ 社 会 教 育

1 本年度のあゆみ

「町ぐるみ『和木学園』構想」を基本として、教育目標「ふるさと和木に誇りと愛着を持ち、和木の将来を担う人づくり」の実現をめざし、生涯学習環境の整備に取り組んだ。特に、「緑の風薫る文化のまち和木町」を支える「いつでも、どこでも、だれでも学べる環境」をつくるため、「人材育成と組織の連携」、「施設の充実・活用」、「学習機会と情報の提供」を重点ポイントに位置付けている。

◇「人材育成と組織の連携」

町民一人ひとりが「豊かな学び」、「豊かな体験」を享受できることをめざして、「町ぐるみ『和木学園』構想」を実践しており、その中で様々な講座を開設したり、県主催の研修会への参加を呼びかけたりすることで、地域を支える人材の育成に努めた。「和木町コミュニティ・スクール委員会」では、各組織が連携して「めざす子ども像」を協議することにより、やまぐち型地域連携教育を展開することをめざしている。園小中合同での研修会をもつことで思いの共有を図ることができ、より連携を強固にすることができた。今後も、こどもの育ち、連続的な学びを見守っていくことを大切にしていきたい。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、コロナ禍以前の活動に近い数の講座等を行うことができた。地域人材の「役割の集中」と「高齢化」は変わらないため、活動を通じて「新たなつながりづくり」と「人材発掘」を図ることが今後の課題といえる。

◇「施設の充実・活用」

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、様々な社会教育団体の活動が活発となる中、各施設をバランスよく使用しながら活動している。しかしながら、小・中学校のコミュニティ・ルームの利用率は下がったままであるため、利用を促し活性化していくことで地域連携教育のさらなる充実・発展をめざしたい。また、「こども園」のコミュニティ・スクールとしてのさらなる活用・充実にも期待している。

◇「学習機会と情報の提供」

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、講座やイベントの実施を見合わせることなく実施できた。今後も安心・安全が確保をしつつ、町民の人生が楽しく、充実したものになるような場面をたくさん生み出していきたい。理想を形にするためには熟議等で「思いを共有」していくことが大切であるし、制限が解除された中で、「これからどんなことができるか」を前向きに検討していく姿勢が必要である。

「町民一人ひとりが当事者」となることが「町ぐるみ」につながると考える。今後とも、わかりやすく身近に感じる形で伝えることで、周知・共有を図っていきたい。

1 社会教育全般

(1) 和木町コミュニティ・スクール委員

氏 名	所 属	職 名	備 考
湯浅 正行	コミュニティ・スクール委員会 (兼 和木こども園運営協議会)	委員長 (会長)	
轟 真由美	和木小学校学校運営協議会	会長	
守田 浩	和木中学校学校運営協議会	会長	
村上 邦明	地域	地域代表	
岡田 康彦	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
崎本みどり	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
吉川 健治	和木町PTA連合会	会長	
坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会	会長	
山瀧 芳久	和木町体育協会	会長	
松本 康夫	和木町文化協会	会長	
米本 道江	すくすくフェスタ実行委員会	委員長	
楯田 理江	和木町家庭教育支援チーム	会長代理	
渡邊真奈美	和木町保健相談センター	所長	
佐伯 公夫	和木こども園	園長	
河口 龍裕	和木小学校	校長	
亀谷 秀雄	和木中学校	校長	
岸本 京子	和木こども園	副園長	
松井千登世	和木こども園	副園長	
中元 啓二	和木小学校	教頭	
米山 仁武	和木中学校	教頭	
杉岡加奈子	和木町教職員研修会	学力向上（こども園）	
村田 愛	和木町教職員研修会	学力向上（小学校）	
藤本 晴香	和木町教職員研修会	学力向上（中学校）	
中林 早希	和木町教職員研修会	心の教育（こども園）	
吉田 幸司	和木町教職員研修会	心の教育（小学校）	
高山 智里	和木町教職員研修会	心の教育（中学校）	
中本 優花	和木町教職員研修会	体力向上（こども園）	
宇治野暁子	和木町教職員研修会	体力向上（小学校）	
光貞 賢志	和木町教職員研修会	体力向上・地域担当（中学校）	
倉光 聖	和木小学校	地域担当	
岡部 光	和木中学校	地域担当	
前田 一平	和木中学校	教務主任	

(2) 和木町コミュニティ・スクール委員会

和木町 コミュニティ・スクール 委員会	第1回 4月24日（月） 文化会館研修室	報告事項 ・所管説明 各部会の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムにおける 取組事業の決定とその取組について」
	第2回 8月16日（水） 文化会館講習室	協議 「取組の進捗状況及び今後の展開について」 講演 「県立学校のコミュニティ・スクールについて」

	第3回 2月26日(月) 文化会館講習室	報告事項 ・今年度の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムの見直しと 今後について」
--	----------------------------	---

(3) 社会教育委員

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員	佐伯 公夫	和木こども園 園長	
委員	岸本 徳久	和木こども園PTA 会長	
委員	河口 龍裕	和木小学校 校長	
委員	村上 邦明	和木小学校PTA 会長	
委員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長	
委員	吉川 健治	和木中学校PTA 会長	
委員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長	
委員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長	
委員	山瀧 芳久	和木町体育協会 会長	
委員	龍永 亮彦	和木町老人クラブ連合会 理事	
委員	松本 康夫	和木町文化協会 会長	副議長
委員	嶋谷 保則	和木町社会福祉協議会 会長	議長
委員	坪内 拓也	ENEOS 株式会社麻里布製油所 企業代表	

(4) 社会教育委員会

社会教育委員会	第1回 6月26日(月) 文化会館講習室	所管事項説明 ・令和5年度山口県教育重点施策 ・令和5年度和木町教育方針 協議題 ・社会教育施設経営方針並びに事業計画について ・国・県社会教育関係事業について ・町社会教育関係事業計画について
	第2回 10月2日(月) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育の推進状況について(4月～9月) ・成人式について 協議題 ・10月～3月社会教育関係行事について ・あいさつ運動作品審査について
	第3回 3月22日(金) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育推進状況について(10月～3月) ・令和5年度和木町社会教育推進の実践報告 協議題 ・令和6年度社会教育方針について ・令和6年度社会教育関係行事について

(5) 社会教育関係会議・研修会等

4月13日	第1回県市町義務教育関係主事等研修会	山口市
4月24日	第1回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
5月12日	山口県社会教育委員連絡協議会幹事会	山口市
5月26日	第1回県・市町社会教育主事等研修会	山口市
6月5日	地域連携教育担当者研修会	文化会館
6月22日	第1回地域連携教育戦略会議	文化会館
6月26日	第1回和木町社会教育委員会議	文化会館
7月22日	山口県社会教育委員連絡協議会総会 及び 研修会	山口市
8月18日	地域連携教育担当者合同研修会	岩国市
10月2日	第2回和木町社会教育委員会議	文化会館
10月26日	学校教育や教育行政に社会教育の視点を活用する研修講座	山口市
11月10日	山口県社会教育研究大会	岩国市
11月28日	山口県社会教育委員連絡協議会地区別研修会	平生町
1月20日	地域連携教育再加速フォーラム	山口市
2月2日	第2回県・市町社会教育主事等研修会	山口市
2月21日	地域連携教育担当者研修会	山口市
2月17日	ひとづくり・地域づくりフォーラム in 山口	山口市
2月26日	第3回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
3月1日	第2回地域連携教育戦略会議	文化会館
3月22日	第3回和木町社会教育委員会議	文化会館

(6) 家庭教育関係会議・研修会等

5月20日	家庭教育アドバイザー養成①・ステップアップ講座①	山口市
6月21日	第1回教育支援員等研修会	Web
6月24日	家庭教育アドバイザー養成②	山口市
7月29日	家庭教育アドバイザー養成③・ステップアップ講座②	Web /山口
8月26日	家庭教育アドバイザー養成④	山口市
8月29日	第1回家庭教育支援チーム連絡会議	各市町
9月30日	家庭教育アドバイザー養成⑤・ステップアップ講座③	山口市
12月1日	家庭教育支援員等合同研修会兼第2回家庭教育支援チーム連絡会議	山口市
12月2日	家庭教育アドバイザー養成⑥・ステップアップ講座④	山口市
1月20日	地域連携教育再加速フォーラム（家庭教育アドバイザー養成⑦）	山口市
3月13日	第3回家庭教育支援チーム連絡会議	山口市

(7) 和木町子ども会育成連絡協議会

① 執行部役員名簿

役 職	氏 名
会長	坂田 直美
副会長	中野さつき
書記	大野百合子
書記	満井 智子
書記	中川 祐子

本年度、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類変更されたことにより、学校や各種団体の活動が通常の状態に戻りつつある。

今後は学校活動との調整を取りながら通常の活動に戻していく予定である。

(8) 和木町婦人会

① 執行部役員名簿

役職	氏名
会長	藤本 亮恵
副会長	井口美智子
書記	三原喜久江
書記	藤重由美子
会計	藤田 栄子

役職	氏名
監査	灰岡 裕美
監査	樋渡ひとみ

② 取組

通年	支部長会議	福祉会館
通年	クリーンアップ活動	各支部
4月25日	山口県連合婦人会総会	カリエンテ山口
4月28日	町婦人会総会	文化会館
5月17日	春の交通安全キャンペーン	役場前
5月23日	婦人会会員研修	広島市
5～8月	日赤募金・赤十字奉仕団活動	町内各地
6月 3日	福祉まつり	福祉会館
8月11日	盆踊り大会	中学校グラウンド
9月16日	敬老会	文化会館
9月27日	秋の交通安全キャンペーン	役場前
9～12月	高齢者交通安全世帯訪問	町内各地
10月29日	わき愛あいフェスティバル	中学校グラウンド
10～12月	共同募金、歳末助け合い運動	町内各地
11月 8日	山口県連合婦人会 70 周年記念大会	山口県総合保健会館
11月11日	和木町町制施行 50 周年記念式典	文化会館
11月28日	婦人会会員研修会	岩国市
12月 6日	趣味の会	福祉会館
12月 9日	福祉餅つき大会	福祉会館前
12月15日	街頭募金	和木駅
1月	こども園昔遊び	こども園

(9) 学校施設開放事業

学校施設の利用状況（スポーツ少年団を除く）

【和木中学校グラウンド】

クラブ名	活動日	時間帯
ソフトボール村重	火	19:00～21:00
中組自治会 (4月～10月)	水	19:30～21:00
ライトニング	金	19:00～21:00

【和木小・中学校体育館】

クラブ名	活動日	時間帯
ウイングス和木	月	19:30～21:30
リアルバスケットボールクラブ	月・火	19:00～21:00
ホーネット	月・木	19:30～21:30
体育協会剣道部	火・金	19:30～20:30
バレーボール安村	水	18:30～20:30
ENBL 宮本	木	18:00～20:00
チーム1／3	木	19:30～21:30
カルテット	金	19:30～21:30
わがままクラブ	金	19:30～21:30
岩国 FID バスケット	金	19:30～21:30
HAAT	土	19:30～21:30

(10) 町ぐるみ「和木学園」構想

4月16日	和木学園講座「和木学農園」①	感時園
4月29日	和木学園講座「歴史教室」	町内各地
5月7日	和木学園講座「ひろみちお兄さんの親子体操教室」	体育センター
5月7日	佐藤弘道さん講演会	文化会館
5月8日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）※中止	コミュニティセンター
5月14日	和木学園講座「和木学農園」②	感時園
5月22日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）※中止	コミュニティセンター
6月12日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）※中止	コミュニティセンター
6月18日	和木学園講座「和木学農園」③	感時園
6月26日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）※中止	コミュニティセンター
7月1日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」①	中学校体育館
7月8日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」②	中学校体育館
7月10日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）※中止	コミュニティセンター
7月15日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」③	中学校体育館
7月22日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」④	中学校多目的スペース
7月23日	和木学園講座「和木学農園」④	感時園
7月29日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑤	中学校多目的スペース
8月5日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑥	中学校多目的スペース
8月6日	和木学園講座「親子陶芸教室」①	感時園
8月19日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑦	中学校多目的スペース
8月19日	第3回タイピング大会	コミュニティセンター
8月20日	和木学園講座「和木学農園」⑤	感時園
8月26日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑧⑨	中学校多目的スペース
9月2日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑩	中学校体育館
9月11日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
9月17日	和木学園講座「和木学農園」⑥	感時園
9月23日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑪	中学校多目的スペース
9月25日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
9月30日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑫	中学校多目的スペース
10月3日	中学校あしゅび体操講演会（包括支援センター主催）	中学校多目的スペース
10月15日	和木学園講座（和木学農園⑦）	感時園
10月15日	和木学園講座「親子陶芸教室」②	文化会館
10月23日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
10月28日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑬	中学校多目的スペース
11月13日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
11月18日	小学校あしゅび体操講演会（包括支援センター主催）	小学校屋内運動場
11月19日	和木学園講座（和木学農園⑧）	感時園
11月25日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑭	中学校体育館
11月27日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月9日	和木学園講座「絵手紙 年賀状講座」	文化会館
12月11日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月17日	和木学園講座（和木学農園⑨）	感時園
12月23日	和木学園講座「中学生スポーツイベント」⑭	中学校体育館
12月26日	和木学園講座「コンビ学習（ふしぎ探検隊）」	小学校理科室
1月6日	日米交流書き初め会（企画総務課連携）	小学校屋内運動場
1月22日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
2月26日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
3月11日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
3月16日	第4回タイピング大会	コミュニティセンター
3月28日	和木学園講座「社会科見学なぎさ水族館見学ツアー」	周防大島町なぎさ水族館



【「コミセン英会話教室」の様子】



【「絵手紙 年賀状講座」の様子】

(11) 成果と課題

近年、和木町の社会教育団体の自主的な活動・運営は定着してきており、今年度もスポーツ、文化サークル等で積極的な活動が目立った。新型コロナウイルス感染症も5類に移行したこと、和木町町制施行50周年の記念の年ということから、多くの行事を実施することができた。

和木町町制施行50周年記念行事や4年ぶりの開催となった「すくすくフェスタ」や「福祉まつり」、「わき愛あいフェスティバル」等のイベントで様々な団体が連携し、町が一つになろうとすることができる点が本町の素晴らしいところである。関係の方々が高齢化していることもあり、上手く次世代に引き継げるようにより多くの人がかかわる中でつながりの再構築をしていく必要が出てくると考えられる。そのために多くのエネルギーを使うと思われるが、和木町のよさをつないでいくことができればと考える。また、子ども会育成連絡協議会については、今後も新たな体制づくりや持続可能な形の模索をしていく必要があると考えている。

「和木学農園」は自主的に運営する中で多世代交流ができており、講座として成熟してきたといえる。町ぐるみ「和木学園」構想では、「みんなが生徒 みんなが先生」ということで、今後は事務局主導のものだけではなく、より地域住民のアイディアによるバラエティ豊かな活動や講座が増えていく方向に近づけたいと考えている。

団体で分けると多岐に渡るように見えるが「思いは一つ」のもと、和木町ならではの連携のしやすさを生かしていきたい。

2 青少年教育

(1) 青少年問題協議会

青少年の健全育成をめざす上で、本町のリーダーシップをとる立場にあるのが、町青少年問題協議会である。

町内のコンビニエンスストアの利用状況等から「目立った問題行動」は見られないが、昨今の若者における SNS 上のトラブル、利用状況は気になるところである。GIGA スクール構想によりタブレット端末が児童・生徒に 1 人 1 台配備されていることから、今年度は総務省中国総合通信局より講師を派遣していただき、研修を行った。

役 職	氏 名	所 属(役職)
会長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	教育委員会 教育長
委員	佐伯 公夫	和木こども園 園長
委員	河口 龍裕	和木小学校 校長
委員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長
委員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
委員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
委員	岸本 徳久	和木こども園 P T A 会長
委員	村上 邦明	和木小学校 P T A 会長
委員	吉川 健治	和木中学校 P T A 会長
委員	山瀧 芳久	和木町体育協会 会長
委員	龍永 亮彦	和木町老人クラブ連合会 瀬田喜楽会会長
委員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
委員	上田 丈二	和木町議会総務文教委員会 委員長
委員	太田 俊裕	和木町教育委員会 教育長職務代理者
委員	川野 敦史	和木駐在所 所長
委員	崎本みどり	主任児童委員
委員	原川 幸江	主任児童委員

(2) 青少年問題協議会・研修会

青少年問題 協議会・研修会	11 月 30 日 文化会館	協議会 「青少年問題の現状と地域ができること」 ・小中学校の現状 ・わきスクールガード、防犯パトロールの取組 ・和木駐在所より青少年の現状 ・総務省より施策説明 研修会 講話 「インターネットの安心安全な使い方 ～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために～」 講師 総務省 中国総合通信局 情報通信部 電気通信事業課 消費者行政担当チーフ 廣本 萌子 氏
------------------	-------------------	--

(3) 青少年関係会議・研修会等

5 月 2 0 日	山口県青少年育成県民会議	
7 月 5 日	子ども環境クリーンアップ立ち入り調査	町内
1 月 1 1 日	子ども環境クリーンアップ活動	町内

(4) 和木町青少年地域活動の取組

4月11日	スポーツ少年団入団式	体育センター
6月10日	県子ども会連合会前期指導者・育成者研修会	山口県総合保健会館
8月9～15日	子ども向けイベント（わくわく水族館）	美術館
8月19～28日	子ども向けイベント（はたらく乗り物プレイランド）	美術館
9月6日	二十歳のつどい実行委員会	文化会館
10月1日	ふれ愛コンサート	文化会館
10月29日	わき愛あいフェスティバル	和木中学校特設会場
11月	全国青少年健全育成強調月間	
11月19日	二十歳のつどい実行委員会	文化会館
11月28日	和木町青少年問題協議会・研修会	文化会館
12月10日	WAKIコンサート	文化会館
1月6日	新春日米交流書き初め会	和木小学校屋内運動場
1月7日	令和6年 二十歳のつどい	文化会館
3月19日	スポーツ少年団修了式	体育センター

(5) 放課後子ども教室（わきあいキッズ）

放課後や週末等に体育センターや小学校のグラウンド等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に実施している。

令和2年度には活動が評価され「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けた。今後もよりよい活動をめざしていきたいと考えている。

日付	活動	場所	人数
4月26日	だがしや体験1	小学校コミュニティ・ルーム	6
5月10日	昔あそび1	体育センター	49
5月15日	だがしや体験2	小学校コミュニティ・ルーム	6
5月17日	昔あそび2	体育センター	43
5月23日	スポーツサッカー1	小学校グラウンド	5
5月24日	昔あそび3	体育センター	47
5月25日	スポーツ野球1	小学校グラウンド	1
5月26日	スポーツソフト1	小学校グラウンド	7
5月31日	昔あそび4	体育センター	45
6月3日	だがしや体験3	保健相談センター	6
6月7日	昔あそび5	体育センター	45
6月8日	スポーツ野球2	小学校グラウンド	1
6月9日	スポーツソフト2	小学校グラウンド	7
6月13日	スポーツサッカー2	小学校グラウンド	6
6月14日	昔あそび6	体育センター	48
6月21日	昔あそび7	体育センター	44
6月22日	スポーツミニバス1	小学校体育館	4
6月23日	スポーツ剣道1	小学校体育館	6
6月28日	昔あそび8	体育センター	46
6月29日	スポーツミニバス2	小学校体育館	4
7月5日	昔あそび9	体育センター	42
7月7日	スポーツ剣道2	小学校体育館	6
7月12日	昔あそび10	体育センター	46
7月31日	スポーツ弓道1	蜂ヶ峯弓道場	20
8月1日	自然観察(海)	通津美が浦公園	26

日付	活動	場所	人数
8月3日	スポーツ弓道2	蜂ヶ峯弓道場	16
9月6日	昔あそび11	体育センター	41
9月13日	昔あそび12	体育センター	47
9月20日	昔あそび13	体育センター	42
9月27日	昔あそび14	体育センター	30
10月4日	昔あそび15	体育センター	40
10月7日	自然観察(森)	宮島大元公園	20
10月11日	昔あそび16	体育センター	43
10月18日	昔あそび17	体育センター	37
10月25日	昔あそび18	体育センター	38
11月1日	昔あそび19	体育センター	38
11月8日	昔あそび20	体育センター	43
11月15日	昔あそび21	体育センター	36
11月22日	昔あそび22	体育センター	34
11月29日	昔あそび23	体育センター	38
12月6日	昔あそび24	体育センター	37
12月13日	昔あそび25	体育センター	40
1月10日	昔あそび26	体育センター	29
1月17日	昔あそび27	体育センター	45
1月24日	昔あそび28	体育センター	39
1月31日	昔あそび29	体育センター	41
2月7日	昔あそび30	体育センター	45
2月14日	昔あそび31	体育センター	39
2月21日	昔あそび32	体育センター	40
2月28日	昔あそび33	体育センター	44



だがしや販売体験
すくすくフェスタにて



昔あそび「盆踊り練習」
体育センターにて

(6) あいさつ運動作品

あいさつ運動啓発作品審査結果(標語の部)

＜小学生の部＞

最優秀 あいさつで ちいきのきずな 深めよう
優 秀 「おはよう」は 元気な和木の 愛ことば
入 選 あいさつで みんなが笑顔 和木の町
入 選 こんにちは 笑顔がたえない 和木っ子に

小4 大野 美怜 さん
 小4 葉名 哲平 さん
 小4 松本 逢暉 さん
 小4 松村 咲音 さん

＜中学生・一般の部＞

最優秀 いきいきと 広がるあいさつ 和木の町
優 秀 伝えよう 日頃の感謝 あいさつで
入 選 あいさつで 心つながる 笑顔の輪
入 選 あいさつで 笑顔あふれる 町づくり

中1 牧島 愛桜 さん
 中2 嘉屋 希美 さん
 中2 井上 麻衣 さん
 中2 安武 由奈 さん

あいさつ運動啓発作品審査結果(ポスターの部)

＜小学生の部＞

最優秀



小4 山本 千咲 さん

優秀



小6 村田 結徠 さん

入選



小6 浅井 楓 さん

入選



小6 黒河てまり さん

<中学生の部>

最優秀



中2 浅井さくら さん

優秀



中1 松田莉乃羽 さん

入選



中3 茶屋穂乃香 さん

入選



中3 葉名 桜子 さん

(6) 四境太鼓

① 役員名簿

役職	氏名
代表	中野さつき

② 取組

10月29日	わき愛あいフェスティバル	中学校グラウンド
11月3日	和木町芸能祭	文化会館
11月11日	和木町町制施行50周年記念祝賀会	岩国観光ホテル

(7) 二十歳のつどい

日 時 令和6年1月7日(日) 10:30 受付開始

会 場 和木町文化会館

内 容 11:00~11:30 二十歳のつどい式典

国家斉唱

主催者挨拶	和木町教育委員会教育長	重岡 良典
記念品贈呈	和木町教育委員会教育長	重岡 良典
	代表者	栗河 太陽 さん
お祝いの言葉	和木町長	米本 正明 様
お礼の言葉	代表者	上村 優芽 さん
町民憲章唱和	代表者	國廣 壺生 さん

11:30~11:40 スライドショー上映

11:40~12:00 記念写真撮影

12:00~12:50 アトラクション

対象者 現在和木町に在籍しており、平成15年4月2日から平成16年4月1日の間に生まれた者

平成27年度和木小学校、平成30年度和木中学校を卒業した者

（８） 成果と課題

放課後子ども教室については、コーディネーターを中心に、自主的な運営がなされており、「子どもの居場所づくり」と「豊かな体験を」を提供する中、活発に活動することができている。新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことをうけ、毎週水曜日の「昔あそび」をはじめ、「だがしや体験」、「スポーツ体験」、「自然教室」と、多くの方の協力をいただき、児童が様々な活動に参加することができた。和木学園の取組の中では好事例の一つだが、指導者・教育活動サポーターの高齢化という課題を抱える。昨年度、新しいサポーターが２人加わったものの全員で６名のため、これからのことを考えるとまだまだ人数が必要だと考えている。新しい講座の開設の可能性も絡めながら、今後もつながりの中で人材確保に務めていきたい。

あいさつ運動については幅広い周知を目的として、標語・ポスターの募集、のぼりやポスターの作成、掲示といったことを今年も行った。また、民生委員児童委員の方々のあいさつ運動の日となる毎月第１月曜日をあいさつチャレンジで名付け、活動をしている。まだまだ定着していないが、和木町のあいさつを支える活動として根付かせたい。さらに、園小中においてもそれぞれ継続した取組が行われており、「人間関係の基礎基本」、「表現力・コミュニケーション力の第一歩」としてこれからも力を入れていきたいと考えている。

今後も、さまざまな体験・交流活動を通じて、青少年の健全育成に取り組んでいきたい。

３ 人権教育

（１） 人権施策推進協議会委員

役 職	氏 名	所 属（役職）
会長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	教育委員会 教育長
評議員	上田 丈二	和木町議会総務文教委員会 委員長
評議員	太田 俊裕	和木町教育委員会 教育長職務代理者
評議員	松本 康夫	和木町文化協会 会長
評議員	佐伯 公夫	和木こども園 園長
評議員	河口 龍裕	和木小学校 校長
評議員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長
評議員	山本 和彦	人権擁護委員
評議員	村上 邦明	人権擁護委員
評議員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
評議員	村本 久雄	和木町自治連合会 会長
評議員	津島 宏保	和木町商工会 会長
評議員	嶋谷 保則	和木町社会福祉協議会 会長
評議員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
評議員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
評議員	占部 泰章	三井化学(株)岩国大竹工場 総務部 総務グループリーダー
評議員	渡邊 良平	和木町企画総務課 課長
評議員	松井 敏浩	教育委員会 事務局長

(2) 人権施策推進協議会・研修会等

和木町人権施策 推進協議会・研修会	7月 4日 文化会館	協議会 ・令和4年度事業報告並びに決算報告 ・山口県および和木町の取組について 研修会 ・演題 性的マイノリティを知ろう ・講師 All Gender Bar RAINBOW 店主 ナオミ（斎藤 克彦）氏
和木町人権のつどい	11月30日 文化会館	・演題 「私も大切、あなたも大切 ～「人」を笑顔にする言葉のつかい方～」 ・講師 塚田 拓司（由宇亭拓の輔）氏

(3) 人権関係会議・研修会等

4月20日	市町人権教育主管課長及び担当者合同会議	山口市
6月 9日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	山口市
7月13日	社会教育指導者のための人権教育研修講座	山口市
9月17日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	Web
10月13日	人権教育研修会	Web
2月14日	市町人権教育担当者協議会	山口市

(4) 成果と課題

人権教育に関しては、研修会や人権のつどい等において、保健福祉課との連携を図りながら運営を行っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染が5類に移行したことにより、ほぼコロナ禍以前の活動ができた。人権擁護委員を講師に招いての人権教室や中学生の書いた作文も例年通り実施し、子どもたちの思いや心の成長をうかがうことができた。全国中学生人権作文コンテスト岩国地区大会優秀者の朗読および表彰を行ったのちに「人権のつどい」を実施した。つどいでは、司会進行を中学生にお願いしており、意識の高まりにつながると考えている。今後とも、町民に対する人権啓発・人権教育を充実させるために、開催時期や内容等を検討し、多くの町民が参加できるものとしたい。

また、研修会の内容を充実させるとともに、社会教育団体等の全ての活動の中に、「人間尊重」という視点を盛り込んでいただき、これまで以上に、普段の生活に人権尊重の精神が浸透していくよう努めていきたい。

4 文化財

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議委員（任期：令和4年～）2年間

氏名	委員歴	備考
正中 克磨	平成14年度～	会長
米本 育美	平成25年度～	副会長
嶋谷 保則	平成30年度～	
竹本 知行	令和 2年度～	

② 第1回審議会

ア 日 時 令和5年8月7日

イ 場 所 文化会館談話室

ウ 内 容 令和4年度の事業と令和5年度の予定について
歴史資料館について

③ 第2回審議会

ア 日 時 令和5年12月5日

イ 場 所 歴史資料館

ウ 内 容 歴史資料館の展示物について

④ 第3回審議会

ア 日 時 令和6年3月15日

イ 場 所 文化会館談話室

ウ 内 容 令和5年度の実施と令和6年度の実施予定について
歴史資料館について

(2) 町史・歴史関係の書物等

① 「ふるさと歴史の散歩」 平成8年12月発行

② 「ふるさと逍遙」 平成14年12月発行

③ 「和木町史」 平成15年10月発刊

④ 「和木町所蔵文書目録」 平成24年3月発刊 希望者に配布中

平成21年度から行った古文書整理事業の報告書である。町指定文化財の「嘉屋文書」及び明治前半の行政文書（戸長役場文書）を解説し、戸籍や移民などの項目別に分類して列記している。

200冊作成し、県内の図書館や町長、教育長などの関係者に配布した。和木町の古文書の実在を知っていただくことが目的である。

希望者には配布し、古文書の閲覧を希望される場合は、職員立ち会いのもとで閲覧を認めることとしている。配布して間もなく、吉川史料館から閲覧希望が寄せられた。なお、嘉屋文書については平成28年度に、歴史教室等の際に岩国徴古館から借用していた和木村大竹村御境絵図は平成30年度にデジタル化済みである。

⑤ DVD「私たちの町で戦いがあった」平成13年作成（平成25年DVD化）

DVD「和木町歴史探訪 産業編」平成25年作成

和木町文化会館及び蜂ヶ峯公園管理棟にて販売中（1枚 500 円）



(3) 町内の指定文化財

① 県指定文化財

瀬田八幡宮本殿	(有形文化財)	和木町瀬田	【平成 5 年町指・平成 10 年県指】
---------	---------	-------	----------------------

② 町指定文化財

釈迦如来座像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
迦葉尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
阿難尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
扁額「大瀧山」	(有形文化財)	和木町和木	【平成 7 年指定】
疫神社の祭礼	(民俗文化財)	和木町関ヶ浜	【平成 11 年指定】
妙見神社の檜	(天然記念物)	和木町関ヶ浜	【平成 11 年指定】
嘉屋文書	(有形文化財)	和木町和木	【平成 14 年指定】

(4) 成果と課題

四境戦争・明治維新に関連する各種事業やテレビ番組などの効果も薄れてきており、町内の史跡や施設についての問い合わせや町外からの来訪者も減少している。

また、町内の史跡や施設について、老朽化等の問題もあり、大幅な見直しを含めた検討が必要である。特に歴史資料館は、令和 6 年度に縮小移転を実施する予定である。

2 文 化 会 館

1 運営方針

(1) 運営方針

町民が求めている文化活動の内容が多様化する中で、町長部局や学校、さらには文化協会等の社会教育団体との連携が、ますます重要となっている。その中で令和5年度は和木町が町制施行50周年を迎えたことから多くの記念事業が文化会館で開催された。



自主事業である子ども向けステージイベントについても、今年度は和木町町制施行50周年記念事業とし、夏休みの前半と後半の2回開催した。5月から新型コロナウイルスの扱いが5類に移行したことや、積極的に宣伝を行ったこともあり、両日とも400人を超える方に来場いただいた。来年度以降も事業を行うにあたっては、各方面に意見を求め、参考にしていくことでその時代や流行にあったイベントを実施していく。

また、館内各施設の老朽化は顕著であり、空調設備や舞台設備を中心に小規模な故障が発生しており、部品生産終了による修理不能箇所も見受けられる。緊急度の高い場所から順に予算や補助金を確保して工事実施し、利用者にとって安全安心な施設の維持を心掛ける。

2 事業の概要

(1) 自主事業

① 和木町町制施行50周年記念 岡本京太郎歌謡ショー

ア 日 時 6月27日(火) 14時00分～15時00分

イ 内 容 由宇町(現岩国市)出身の岡本京太郎氏による歌謡ショー

ウ 来場者数 400人

エ 実施報告 新型コロナウイルスが5類に移行後、初の文化会館自主事業開催となった。入場制限が解除され、町内外から大勢の方が来館した。歌と創作舞踊を織り交ぜた幻想的なステージに惜しめない拍手が送られた。



② 和木町町制施行 50 周年記念 子ども向けステージイベント

ア 日 時 前半：8月1日(火) 10時30分～11時50分

後半：8月23日(水) 10時30分～12時00分

イ 演 目 前半：キャラメルマシーンのスーパーサイエンスマジックショー

後半：XK徒 慶 スーパーイリュージョンショー

ウ 内 容 前半：サイエンスマジックショー

後半：イリュージョンショー

エ 来場者数 前半：426人

後半：428人

オ 特記事項 今年度は和木町町制施行 50 周年記念事業として前半と後半の計 2 回、ステージイベントを実施した。また、4 年ぶりに入場制限なしでの開催となった。

カ 実施報告 近隣 4 社のイベント業者から企画書を提案いただき、コンペを開催し、実施内容を決定した。

前半の「キャラメルマシーンのスーパーサイエンスマジックショー」は空気の性質や水圧、力のつり合いなど、子どもたちの科学への興味・関心を引き出し、愉快的な MC で笑いながら学習できる内容であった。

後半の「XK徒慶スーパーイリュージョンショー」では次々に繰り上げられる迫力と衝撃のショーに会場は大いに盛り上がった。

前半後半ともに来場者の体験コーナーや和木町町制施行 50 周年にちなんだ演出があり、子どもと保護者も楽しむことができる充実の内容であった。





(2) 貸館事業

① 統括

令和5年5月に新型コロナウイルスの扱いが2類から5類に移行し、それに伴いホールの入場制限の撤廃を撤廃した。その後は活動を再開した団体やコロナ禍以前に行われていた一般のピアノ発表会などでの利用が増え、利用者数と利用団体数が以前の水準に戻りつつある。

また、令和5年度は和木町が町制施行50周年を迎えたことから、11月11日の記念式典をはじめ、多くの行事が文化会館で開催された。そのほかにも敬老会や文化祭芸能祭など、コロナ禍以前に行われていた町や文化協会の主要行事が久しぶりに開催されたことも利用状況が回復した大きな要因である。

② 各部屋の状況

ホールは毎週の四境太鼓の練習に加え、教育委員会や役場各課、文化協会主催のイベント、近隣の音楽教室、ピアノの発表会、ダンスや演劇の練習や発表会など、幅広く利用いただいている。

講習室は防音機能の整備により、会議だけでなく、音楽団体の練習会場としても利用されているほか、発表会やイベントの控室としても高頻度で利用されている。集会室はイベント時の控室として利用されることが多く、単独での理由は少ない。商工指導室は、商工会や一般団体の会議を中心に使用いただいている。使用料が他の部屋の半額であることから、有料の使用率が高い傾向にある。

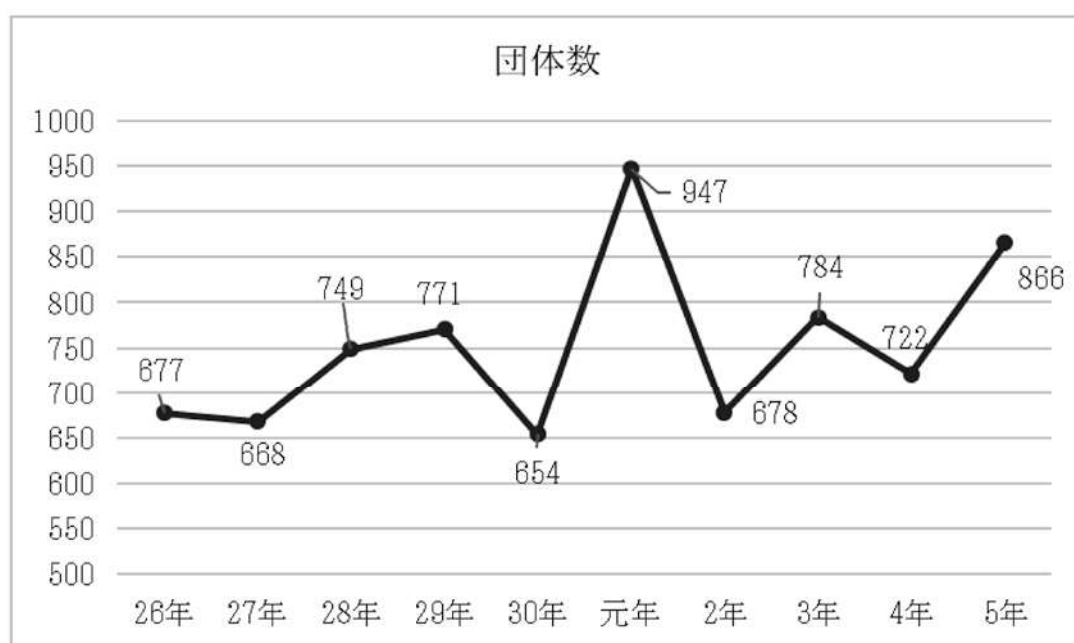
一方で、研修室と視聴覚室の利用は長年低迷している。公民館講座各団体の高齢化や会員数減少により活動の休止・縮小をする団体が増えたことが大きな要因である。

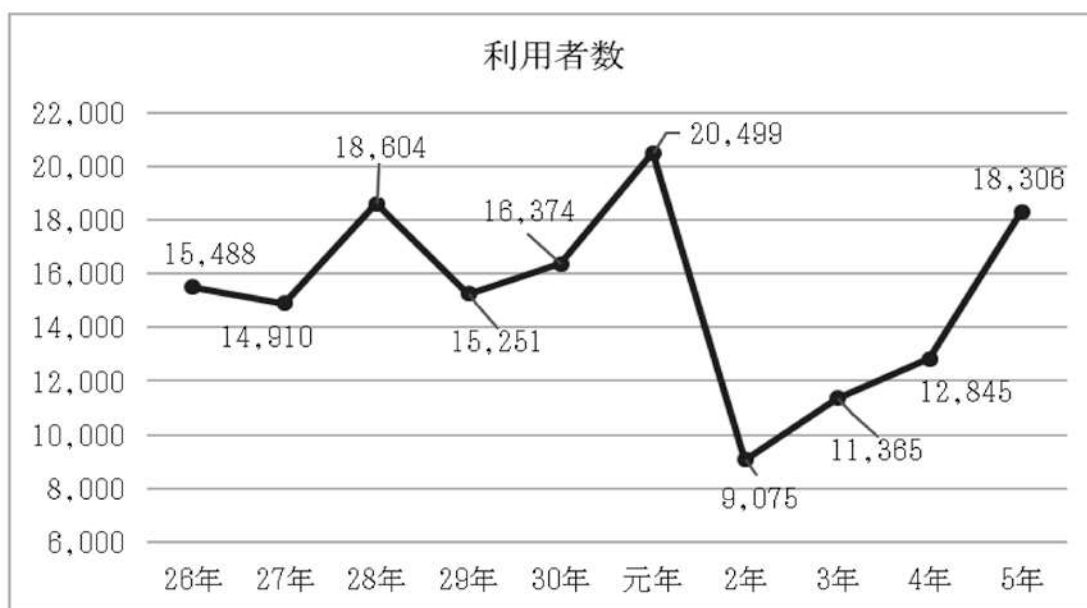
3 文化会館事業入館者等実績

(1) これまでの子ども向けステージイベント一覧

開催年	名称	来館者数
平成 22 年	シャボン玉ショー	280 人
平成 23 年	アンディ先生のマジックショー&マジック教室	350 人
平成 24 年	コブリナサーカス	600 人
平成 25 年	おじゃるず	300 人
平成 26 年	RONE&G i g i	420 人
平成 27 年	※からくりドール（台風のため中止）	中止
平成 28 年	からくりドール	380 人
平成 29 年	ミラクルイリュージョン	380 人
平成 30 年	キャラメルマシーンのサイエンスマジックショー	420 人
令和元年	影絵劇「三枚のお札」	350 人
令和 2 年	※開催時期延期のうゑで実施中止	中止
令和 3 年	※内容を仮決定したが中止	中止
令和 4 年	おんぷらんと & 出張エデュパーク	午前 180 人 午後 130 人
令和 5 年	前半: キャラメルマシーンのスーパーサイエンスショー 後半: X K 徒 慶 スーパーイリュージョンショー	前半: 426 人 後半: 428 人

(2) 近年の利用団及び利用者数の推移





4 修繕・工事について

平成4年度の開館から31年が経過し、施設各所の老朽化が顕著である。特に空調設備や舞台設備、消防設備の故障が多々発生しており、異常が発生した場合はすみやかに修繕(50万円未満)や工事(50万円以上)を実施している。

経年劣化で故障する機器が多いが、部品の製造中止になった機器もあり、根本的な取替工事が必要な時期に来ているが、町の財政状況から工事費確保に苦慮している。

今後の工事は適宜優先順位を決め、計画的な工事や修繕を行い、利用者の快適な施設使用、安全安心を確保していく。

今年度の特記すべき工事と業務は、P129～131に掲載している。

5 成果と課題

文化会館は、町民の教養の向上と生活文化の振興を図るための施設として設置されている。発表会や会議、研修、趣味の活動場所として利用されており、町民の生涯学習における重要な施設である。これらの活動を十分に支援していくために、利用者のニーズに応えた施設運営を行っていく必要がある。

令和5年度は多くの和木町町制施行50周年記念事業が文化会館で行われたため、様々なイベント運営のノウハウを蓄積することができたほか、新型コロナウイルスによる制限もなくなったため、利用状況がコロナ禍以前の水準に回復した。

しかしながら、開館から31年が経過し、施設の老朽化が顕著である。これは文化会館だけでなく、町内各施設にも共通しており、全国的な課題でもある。

上記4で示した工事・修繕をはじめ、経年劣化による空調設備や音響・照明設備の不具合が

見受けられる。また、部品の製造終了による修理の不能や法令の改正により使用不能となる資材も判明している。引き続き、優先順位を決めて計画的な工事・修繕を行い、利用者の快適な施設使用と安心安全を確保していく必要がある。

3 総合コミュニティセンター

1 運営方針

(1) 生涯学習の支援はもとより、住民サービスの提供、災害時の避難所、さらにまちづくりの拠点としての役割を担う。

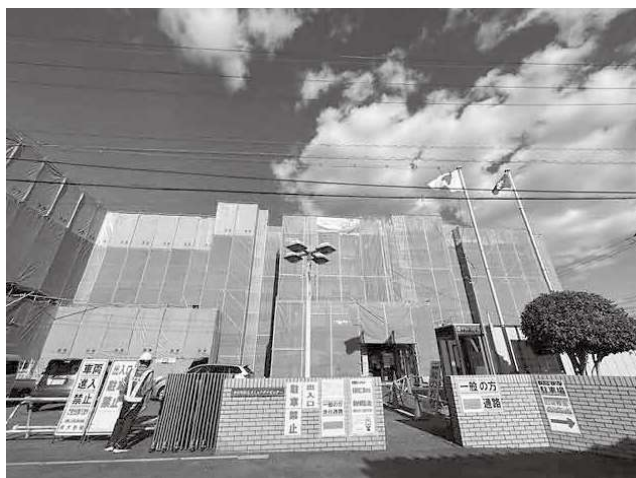
(2) 時代背景や社会構造、住民の意識の変化を敏感にとらえ、地域住民の活性化や健康増進、住んでいて良かったと思えるまちづくりをめざす。

(3) 青少年を導く立場にある地域の大人たちを対象にした社会教育や生涯学習への取組を重視する。

(4) あらゆる年代階層の住民の方に、充実した魅力ある学習機会を提供することで、人々の連帯感や公共意識・道徳観・倫理観の育成につなげていく。

(5) 公民館瀬田分館及び公民館関ヶ浜分館の個人利用の促進を図る。

(6) 施設の安全性強化を図る。



2 本年度の努力点と反省点

(1) 生涯学習の情報拠点としての体制づくり

和木町のホームページの更新を機に、コミュニティセンターの情報を初めて利用する方にも、どんな部屋があり、広さ、料金などが一目で分かるように掲載方法の変更を行った。今後は、公民館認定講座・自主活動団体や和木大学などの情報も盛り込んで、サービスの周知を図っていく。

(2) 公民館認定講座について

公民館認定講座は、講座と同等の活動を行っている団体を公民館活動団体と認定して、講座と同等の扱いとすることとしたもので、令和5年4月1日現在は39団体ある。認定の基準は、団体の人数が概ね5名以上であり、町民の割合が高く、講師謝礼が低廉であることとしている。

高齢化や会員減少などが、多くの団体に共通した課題である。和木学園構想の一環で、いかに60代の方を中心に、周知・勧誘するかが重要になってくる。毎年、年度末には新年

度の募集を広報誌に挟んで全戸配布し、町内施設に配架するなどして、新規の勧誘に努めている。

(3) 総合的な学習の機会、発表の場の提供

文化協会や独自の公民館活動を通じ、学校や地域との交流や連携を深めている。コロナ禍の為、開催の難しかった文化協会主催の「キッズ芸能祭」を4年ぶりに開催し、学校だけではできないイベントを企画し、機動力のある活動の展開に努めた。

(4) 情報社会に対応した、学習体制の強化と質的充実

高齢者の間でもパソコン・スマートフォンは必需品になりつつある。公民館認定団体にはパソコン教室が2団体あるが、平成30年度にフリーWi-Fiが整備され、パソコン教室でもインターネットが利用可能となり、教室の活性化に貢献している。

(5) 文化協会の役割

文化協会内各団体の活動は全体的には、一時縮小する傾向にあったが、令和元年度以降、再び活性化してきている。特に新規加入や代表者が変更になった団体が、イベントを新たに開催する傾向にあり、それらのイベントが末永く活動できるよう引き続き支援していく。

文化協会主催イベントの企画や運営は、11名の役員及び事務局でおこなっている。

今年はコロナの感染症も少し落ち着いてきた為、コロナ禍以前のように例年行っていたキッズ芸能祭、文化祭展示会及び芸能祭や、「WAKI コンサート」を開催することが出来た。特に、「WAKI コンサート」は、和木町町制施行50周年を祝うため、和木町と共催して第九の合唱も行い、50周年を祝うのにふさわしい、素晴らしいコンサートの開催となった。また、和木町絵画美術展覧会は和木町及び近隣市町から多くの参加者を集め、好評を得た。

今後も文化協会は会員による自由な発想による自主企画、活動により文化・芸術活動の啓発を行い、イベントなどの開催や、展示会及び広報活動などに取り組み、町民の総合的な文化意識を高揚する役割を果たしていきたい。

(6) 施設の安全性強化について

昭和56年の開館から、40年以上が経過し、各所が老朽化し、壁の剥離や突発的な故障などが発生し、対応に苦慮している。今年は、外壁改修工事や非常用発電機取替、多数の空調工事、消防用ポンプ取替、非常照明取替工事など、昨年に引き続き大型工事を行い、利用者に安心して利用してもらえる施設になるよう改良工事を行っている。

3 今後の課題

住民の学習要求は、近年の高齢化や情報化などで、非常に多様化・高度化してきており、どう対応していくかが今後の課題となっている。従って前述の Wi-Fi の設置などの取組が継続的に求められてくる。また、各年齢層のニーズに応え得る学習機会の提供が、充分になされることが求められるのはもちろんのこと、コロナ禍の中で新たな生活様式に対応した体制づくりを確立し、安全と安心を担保する必要がある。

また、永年の課題として、現在の和木町での生涯学習活動の拠点である教育委員会社会教育係とコミュニティセンター、さらには地域振興協会との連携が挙げられる。社会教育係は学校教育との連携（主に放課後や休日の学習活動の提供）、町子連、婦人会、ふるさとづくり団体等を通じ、コミュニティセンターは地域、公民館認定講座、文化協会等を通じ、地域振興協会は町内外での各種イベント開催に携わっている。

それぞれの部署間で事業やニーズなどの情報を共有し、より集客が見込まれ、教育面に有益である効果の高い事業を展開していく必要がある。

施設の安全性向上については、補修する箇所が多々あるが、町全体の予算が限られていることから、優先度の高い順に予算を確保し、工事を実施していくとともに、突発的な故障が発生した場合は、早急に予算を確保し、利用者の安全性向上をめざしていく姿勢が、引き続き問われている。

4 高齢者学級（和木大学）

高齢者の「楽しく学べる」場を提供している和木大学は、平成2年5月に開校した当初は、受講者が非常に多く熱心に受講していたが、学生数及び出席者数が年々減少している。これは、主には高齢化によるもので、転出や死亡により、退学される方が多く、入学される方が僅かであるためや、講座内容のマンネリ化、和木大学の知名度が低いことがあげられる。

対策としては、広報誌やホームページ、ポスターの作成などで定期的に活動報告や学生募集をすること、公民館認定団体や社会福祉団体などに案内を配布すること、在学生に対し、ニーズの把握、開催回数の見直しやそれに伴う内容の充実化を行うことがあげられる。

- | | |
|---------|---|
| ① 対 象 | 60 歳以上の人あるいはそれ相応の年齢に達したと認められる方 |
| ② 費 用 | 入学金や受講料は無料 |
| ③ 開催回数 | 年間 5 回程度 |
| ④ 学習内容 | 健康管理、人権教育、歴史・地理・民俗、人生論、政治・経済、社会問題、趣味、レクリエーション |
| ⑤ 学 生 数 | 令和 5 年 12 月末日で 45 名（前年比 -4 名） |

⑥ 実施講座

ア 開校式・第1回講義 5月30日(火) 14時00分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に気づく」

講 師 和木大学 重岡良典 学長（教育長）

出席者数 16名

概 要 重岡学長によるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に気づくについての講演

イ 第2回講義 6月27日(火) 14時00分～ 文化会館

講 義 和木町町制施行50周年記念 「岡本京太郎歌謡ショー」

出席者数 21名

概 要 岡本京太郎歌謡ショーが文化会館で行われ、和木大学生も参加した

ウ 第3回講義 8月9日(水) 13時30分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「健康寿命」を延ばすための生活習慣

～今日からできる私のフレイル予防～

講 師 山口県立大学 看護栄養学部 看護学科

准教授 横田恵 氏

出席者数 16名

概 要 「健康寿命」を延ばすための生活習慣（今日からできる私のフレイル予防）についての講演

エ 第4回講義 10月13日(金) 13時30分～ 総合コミュニティセンター

講 義 わきあいあいウォーク

～足指を整えて歩きやすい体づくり～

講 師 理学療法士 中元幸美 氏

出席者数 11名

概 要 わきあいあいウォーク～足指を整えて歩きやすい体づくり～についての講演

5 団体事業

(1) 和木町文化協会

本年度の会員数は、12月28日現在延べ599人(昨年比-132人)で、新たな加入団体もあるが、全体的にみると、減少傾向にある団体が多数を占める状況となっている。

これからも、和木町の文化事業の推進母体である文化協会の安定した運営のために、新会員を確保し、会員数の維持が必要である。和木学園構想の一環で50代・60代の方に関心をもってもらえるよう、日々の活動を通して文化活動の楽しさをアピールし、引き続き会員数の維持につなげていきたいと考えている。

本年度も、文化会館や和木美術館（アートウィング）、コミュニティセンターなどの有効的な活用をめざしつつ、身近な芸術・文化に親しみやすい行事、歴史・伝統を再確認できるイベント実現に向け、コミュニティセンターや教育委員会との連携、協力を得ながら、活動を繰り広げた。主な自主事業としては、次のとおりである。

今後も、限られた予算を有効に使い、運営可能な規模で事業を行っていき、会員相互にストレスなく、持続可能な会の運営をめざしていきたい。



① 和木町文化協会総会

日 時 令和5年4月28日（金）18時30分～ 会 場 総合コミュニティセンター
昨年度決算および事業報告、本年度予算および事業計画等、すべて承認された。

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	松本 康夫	副会長	中野 さつき	副会長	森脇 由紀
理 事	井口 和久	理 事	兼本 信昌	理 事	嘉屋 信明
理 事	崎本 みどり	理 事	中川 祐子	理 事	松岡 泉
監 事	海井 俊子	監 事	安田 左知子		
顧 問	海井 朗弘	顧 問	湯浅 正行	顧 問	島崎 こずえ

② 主催事業（令和5年1月～令和5年12月）

ア 第10回和木町絵画美術展

展示期間 2月12日（日）～2月26日（日）

10時00分～17時00分 ※最終日は15時00分まで

会 場 アートウィング（和木美術館）

出展者数 合計 178 点

(一般の部 155 点 高校生の部 23 点)

概 要 一般の方々から指定日時に搬入いただいた作品を審査し展示した。今年も
コロナウイルス感染防止対策を講じ、表彰式やギャラリートークも行わない
など、3密を避けながら工夫して展示会を開催することができた。

審査結果

(ア) 一般の部

審査結果	作品名	氏名
大 賞	群像	茶谷 裕子
優秀賞	街角	中谷 友子
奨励賞	フィナーレ	三好 祐子
奨励賞	雲のまにまに天を指す	市岡 明



《 一般大賞 》

(イ) 高校生の部

審査結果	作品名	氏名
大 賞	COSE I	両國 菜々香
優秀賞	海底からの手紙	林 悠雅
奨励賞	台の上	田中 佑和
奨励賞	自販機	藤原 咲姫



《 高校生大賞 》



《 作品審査の様子 》



《 展示会期間中の様子 》

イ 第10回 キッズ芸能祭

日 時 7月22日(土) 13時30分～

会 場 和木町文化会館

出演者 17団体、出演者のべ 117人

概 要 今年度はコロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、コロナ禍以前の出場団体数とほぼ同じ規模で4年ぶりに開催することが出来た。中学生までの子どもたちが、楽器演奏、ダンス、合唱、神楽など日ごろの練習の成果を披露し、最高のパフォーマンスを繰り広げた。



《生見こども神楽》



《YOKOバレエスクール》



《コートファミリー》

参加団体名	和木中学校 吹奏楽部、AMM、スタジオハーモニー、岩国こぬか踊り こすゞ連、コート ファミリー、アイザック パーク、山本 紗瑛、若林ピアノ教室、藤本 伊織、YOKO バレエスクール、生田流 筑紫若樹会、四境太鼓、ヒッポファミリークラブ和木、藤間流 藤紫会、はっち弦楽合奏団、ダンスサークルABEATクラブ、生見こども神楽
-------	--

ウ 和木町文化祭「展示会」

会 期 10月25日(水)～11月5日(日) ※月・火は休館

会 場 和木美術館 (アートウィング)

入 館 者 511人

参加団体 10団体、特別出展5人

概 要 文化協会員の成果発表の場として2週間にわたり、書道や絵画、シャドーボックス、洋裁などの作品を展示した。また、コロナウイルス感染症対策のため、なかなか開催できずにいたお茶席も今年は4年ぶりに設けることができた。

団体名	子供絵画教室、和木絵画クラブ、専心小笠原流煎茶、 正筆書道会、フランス刺繍（橋本 松枝）、 フラワーアレンジメント講座、明水書道会、 洋裁同好会、和木シャドーボックスクラブ、和木短歌会
特別出展	三分一 貴司、島崎 こずえ、島崎 陽子、藤川 暁子、宮本 健吾



《特別出展》



《和木シャドーボックスクラブ》



《子供絵画教室》

エ 和木町文化祭 芸能際

日 時 11月3日(金・祝) 12時30分～

会 場 和木町文化会館

出 演 者 17団体、出演者のべ 191人

概 要 今年度もコロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、合唱や民謡、ダンスなど
日頃の練習成果を遺憾なく発揮されていた。また、和木町の文化振興に尽くし、
協会または加盟団体の育成発展のために永年尽力された方に送られる文化功労賞
を、和木絵画クラブの三分一重厚さん、前和木町文化協会理事の繁原節子さん、
米元恭子さんが受賞された。

参加団体名	コーラス「あひる」、ハーモニーC o o、馨風流吟剣詩舞道、和木社交ダンス同好会、 はっち弦楽合奏団、ナニ モハラ、和木カラオケ同好会、フォークダンスの会、 プチママコーラス、T 4、和木ルンルンクラブ、ナメア フラ オ イカラ' イ、 AMM、公民館民踊部、邦楽 生田流正派 桃の会、ダンスサークル ABEAT クラブ、 四境太鼓
-------	--



《文化功労賞授賞式》



《はっち弦楽合奏団》



《公民館民踊部》

オ WAKI コンサート ‘23

日 時 12月10日(日) 14時00分～

会 場 和木町文化会館

出演者数 9団体、出演者のべ 84人

和木町町制施行50周年記念第九出演者 約120人

概 要 今年も新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、ピアノや吹奏楽、合唱など各団体が日頃の練習の成果を発表した。

また、今年は今和木町町制施行50周年を記念し、WAKI コンサートは二部編成とした。第一部は例年通りのコンサート、第二部は和木小・中学生による合唱、続いてベートーヴェン交響曲第9番「合唱付き」第4楽章＜歓喜の歌＞の合唱を行った。町内外より120名を超える参加者が集い、幾度も練習を重ね本番では、文化会館のホール全体に「歓喜の歌」を響きわたらせ、満員の場内の観客を魅了した。



《Brass Quintet 笑夢》



《和木中学校吹奏楽部》



《手話サークル「虹」》



ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」

第4楽章 ＜歓喜の歌＞

【指揮】 村上 謙一郎



【ピアノ】

松村 和・山下 千佳



【ソリスト】

小林 良子・藤井 美雪・中東 駿・折河 宏治
(ソプラノ) (アルト) (テノール) (バリトン)

③ 文化協会 所属団体による事業

令和5年 文化協会実施事業			
団 体 名	実施日	事 業 名	会 場
四境太鼓	1/28	太鼓まつり ‘22	文化会館
ヒッポファミリークラブ和木	2/23、6/3、 10/21	親子で参加するワークショップ プ〜7ヵ国語で話そう〜	文化会館 コミュニティセンター
和木町カラオケフェスタ	5/14	和木町カラオケフェスタ	文化会館
和木絵画クラブ	6/2〜5	第23回 絵画作品展	和木美術館
和木カラオケ同好会	6/24	和木カラオケ同好会発表会	文化会館
AMM	7/16	AMM DANCE RECITAL 2023	文化会館
コミセンパソコン教室	8/19	夏季タイピング大会 冬季タイピング大会	コミュニティセンター
中学校吹奏楽部OB会	10/1	2023年ふれ愛コンサート	文化会館
和木短歌会	10/15	第5回 公開短歌講座	文化会館
コミセンパソコン教室	10/28	第9回 地域交流会 ハロウィンパーティー	コミュニティセンター
コミセンパソコン教室	12/23	クリスマスパーティー	コミュニティセンター

6 公民館講座別利用状況（令和5年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数
子供絵画教室	40	531
子供英語教室	39	195
子供そろばん教室	41	143
合 計	120	869

7 公民館講座（公民館活動認定団体分）別利用状況（令和5年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数	団体名	回 数	延べ人数
和木ルンルンクラブ	28	642	和木パソコン教室	23	121
和木公民館民踊部	37	259	シェイプアップ体操	36	351
和木カラオケ同好会	33	306	リズムストレッチクラブ	43	233
専心小笠原流煎茶	33	227	和木社交ダンス同好会	22	131
フォークダンスの会	36	442	童謡・唱歌を歌う会”赤とんぼ”	22	573
手話サークル「虹」	39	307	民謡三絃教室	24	131
プチママコーラス	36	247	和木絵画クラブ	23	109
ウォーキングエアロ	45	337	コミセン パソコン教室	23	109
和裁	47	309	英数教室	39	227
コーラス「あひる」	40	587	リラックス体操	36	299
専心池坊和木会	38	200	明水書道会（土曜会）	37	550
英会話教室	24	163	和木町囲碁同好会	45	160
明水書道会（水曜会）	47	220	ギター弾き語り同好会	46	251
和木ヨーガ教室	46	1,033	和木町将棋愛好会	25	59
正筆書道会	35	173	四境太鼓（文化会館）	37	319
ナメア フラ オ イカラ'イ	26	220	洋裁同好会（文化会館）	33	245
和木短歌会	11	70	民踊ひまわり（関ヶ浜分館）	14	55
民踊すみれ会	22	106	手編教室（瀬田分館）	45	335
着付教室 小紋の会	13	59			
ABEAT クラブ	44	641	合 計	1,262	10,896
フラワーアレンジメント講座	9	90			

8 施設別利用状況（令和5年1月～12月）

利用区分	コミュニティセンター		瀬田分館		関ヶ浜分館	
	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数
公民館講座	1,247	10,678	51	468	14	55
短期講座	0	0	0	0	0	0
福祉団体	20	906	90	313	199	1,726
公共団体	184	2,927	57	924	139	1,753
一般（有料）	850	5,975	495	1,089	1	10
合 計	2,301	20,486	693	2,794	353	3,544

※手編教室は瀬田分館で、民踊ひまわりは関ヶ浜分館で、四境太鼓及び洋裁同好会は文化会館で講座を行っているため、6表＋7表と8表の公民館講座の使用回数及び延べ人数とは一致しない。

令和5年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

曜日	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内 容
月	1	和木ルンルンクラブ	第1・3月曜日 9:30～12:00	会費 1,500円/月	中火でトロトロ、ニコニコペース”継続は力なり”をモットーに心と身体健康作り、楽しい仲間作りをしています。
	2	和木公民館民踊部	第1・3月曜日 12:30～15:30 第2・4月曜日 9:00～12:00 (祝休)	会費 2,000円/月	初心者から上級者まで段階的に学べます。
	3	和木カラオケ同好会	第2・4月曜日 第2・3金曜日 12:30～16:00	会費 1,000円/月 入会金 2,000円	歌で心を癒しましょう。人生の悲しいこと、つらいこと嬉しいことを歌であらわし明日への糧にしましょう。
	4	プチママコーラス	月曜日(祝休) 19:30～21:00	会費 200円/月	”みんなで楽しく♪”をモットーに、気軽にハーモニーを楽しんでいる小さなママさんコーラスグループです。一緒に歌いませんか？
	5	専心小笠原流煎茶	第2・3・4月曜日(祝休) 14:00～18:00 第2土曜日 13:30～17:30	会費 2,500円/月	丸盆、角盆、茶布敷など色々なお点前があります。楽しく一緒にお稽古しませんか。予備稽古日として土曜日13:30～17:30も行っています。
	6	フォークダンスの会	月曜日(祝休) 10:00～12:00	会費 2,000円/月	昔懐かしい曲、今はやりの曲、世界の曲に乗り楽しく踊っています。笑い声が絶えません。初心者歓迎ふってご参加ください。お待ちしております。
	7	手話サークル「虹」	月曜日(祝休) 19:30～21:00	無料	聴覚障害者の言葉である「手話」日常生活、手話歌など学びませんか。
火	8	ウォーキングエアロ	火曜日(祝休) 9:30～11:00	会費 3,000円/月	ウォーキングを基礎とし、いろいろな動きを入れたダンスを取り入れ楽しく脂肪燃焼していきます。ボールや青竹ふみ・ピラティス・ヨガなども織り交ぜ、楽しく続けられる内容です。
	9	コーラス「あひる」	火曜日(祝休) 11:00～13:00	会費 3,000円/月	声と声が一つに溶け込む合唱の楽しさをあなたといっしょに。初心者大歓迎。
	10	英会話教室	第1・3火曜日 19:00～20:30	会費 2,000円/月	講師はアメリカ人です。初心者の方も歓迎します。(中学生以上)
	11	専心池坊和木会	火曜日(祝休) 13:00～15:00	会費 2,500円/月 花材費 1,400円/1回	お家にいけばなを飾りませんか。自然の草花や花木で”花あそび”を…。生花や英国風アレンジメントを楽しく素敵にいきましょう。
	12	和 裁	火曜日(祝休) 9:00～12:00	会費 2,000円/月	基礎知識、基礎技術が学べます。
水	13	和木ヨガ教室	水曜日 10:00～11:30	会費 1,500円/月 (6ヶ月分前納)	静かな時間の流れの中で無理なく、ゆっくり身体と心を整えます。心身がリラックスしストレスから開放されます。
	14	民踊すみれ会	水曜日(祝休) 14:00～16:00	会費 1,000円/月	婦人の方いっしょにやりませんか、楽しく出来る簡単な民踊です。
	15	正筆書道会	第1・2・3水曜日(祝休) 10:00～12:00	会費 3,000円/月	漢字から仮名、実用の書、ペン習字まで初歩から学べます。
	16	ダンスサークル ABEATクラブ	水曜日 16:30～17:30 幼児クラス 17:30～19:00 小学校低学年クラス	会費 3,000円/月	幼児からの無料体験、入会を随時受け付けています。和木町内のイベントにも多数参加し、地域とのふれあいも大切に行っています。楽しい仲間も沢山出来ますよ。小学校高学年からは他の曜日でレッスンをこなっています。

令和5年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

曜日	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内 容
水	17	着付教室 小紋の会	第2・4水曜日 (祝休) 13:30～15:30	会費 1,000円/月	普段着より礼装の着付けまで、 着付けやコーディネート勉強をします。
	18	明水書道会 水曜会	水曜日(祝休) 9:30～11:30	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。
	19	ナメア フラ オ イカラ'イ	水曜日(祝休) 13:30～16:00	会費 3,500円/月	ハワイの音楽にいやされながら楽しく踊りましょう。
	20	フラワーアレンジメント 講座	第2水曜日 (祝休) 17:30～19:00	会費 2,000円/1 回 (花・花器代込み)	国家検定フラワー装飾1級的美香先生と一緒に、子ども から大人までみんなで楽しくお話しながら、お花を飾りま しょう。初めての方でも男性でも大丈夫。素敵作品が 出来上がります。
	21	和木短歌会	第4水曜日 13:30～15:30	会費 200円/月	生活の中の感動を短歌に詠んでみませんか？お互いの 作品を歌評しあって学んでいきます。まずは見学にいらし てください。
	22	和木パソコン教室	第1・3水曜日 13:00～16:00 (祝休)	会費 3,500円/月 教材費 2,000円/年	パソコンの基本操作を中心に、ワード・エクセル・インター ネットの利用で作品作りに楽しくチャレンジしましょう。繰 り返しゆっくり楽しく学べます。
木	23	シェイプアップ体操	木曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月 (6ヶ月分前納)	エアロビクスで心も身体もシェイプアップ。
	24	童謡・唱歌を歌う会 ”赤とんぼ”	第1・3木曜日 13:00～16:00	会費 1,000円/月	どなたでもどうぞ。昔懐かしい思い出の童謡・唱歌、心の 歌をいっしょに楽しく歌いましょう。(実質の練習時間は 13:30～15:30となります。)
	25	和木社交ダンス同好会	第2・4木曜日 13:00～15:00 (祝休)	会費 500円/月 (6ヶ月分前納)	社交ダンスを愛し、さらに楽しいダンス仲間の輪が広がる 事を願って一緒に踊りませんか。
	26	リズムストレッチクラブ	木曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 3,000円/月 保険料1,500円/ 年	ストレッチ・リズム体操・リズムダンスを行っています。 (1回 無料体験できます)
	27	民謡三絃教室	第1・2・3 木曜日(祝休) 13:00～17:00	無料	初心者から学べます。 三すじの系に民謡をのせて楽しんでみませんか。
金	28	和木絵画クラブ	第2・4 金曜日 9:30～15:30	会費 3,000円/月	絵画全般、初歩から学べます。 初心者大歓迎。公募展にも出品できます。
	29	コミセンパソコン教室	金曜日 19:30～20:30 (祝日、1のつく 日は休み)	会費 2,000円/月 (中学生以下:半 額) パソコン貸出可 (別途料金)	パソコンインストラクターを招いてのスキルアップ教室。タイ ピングの基礎を学び、Excel、Word、PowerPointZo om、インターネットを使ってできることなど、幅広く学習し ます。 また、タイピング大会にエントリーし入賞を目指したり、地 域交流イベントのハロウィンやクリスマスパーティーも楽し み♪
	30	英数教室	金曜日 19:00～20:30	会費3,000/月	学習内容は中学レベルの英語、数学です。小、中学生、高 校生、大人の方でご興味のある方は、ご相談ください。講 師はアメリカに永く生活していた和木在住の方です。
土	31	リラックス体操	土曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月	無理のないエアロビクス運動とストレッチでストレス解 消。
	32	ギター弾語り同好会	土曜日 14:00～17:00 (月3回程度)	基本的には無料	マイギターをお持ちの方、ご自分で唄ってみたいギターの 弾き語りをしてみませんか……。ギター上手の講師も居り ますが、貴方が貴方の弾き語りの主役です。

令和5年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

曜日	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内 容
土	33	明水書道会 土曜会	土曜日(祝休) 12:00~14:00	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。
	34	和木町囲碁同好会	土曜日 13:00~17:00	会費 1,000円/年 新規入会 1,000円	囲碁を通じて会員の親睦を深めています。 年2回 囲碁大会をしています。興味のある方大歓迎。
	35	和木町将棋愛好会	第2・4土曜日 17:00~21:00	出席のつど500円 (むすび3ヶ お茶) 200円(対局のみ)	会員同志での将棋対局(全員アマチュア、同格の実力なので、対局により棋力アップを図る)

（瀬田分館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
金	36	手編教室	金曜日(祝休) 13:00~15:00	会費 1,000円/月	編めなくても大丈夫。毎回、楽しくおしゃべりしながら、作品をつくっています。小物からセーターまで、好きなものを手編でつくってみませんか？

（関ヶ浜分館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
水	37	関ヶ浜分館 民踊ひまわり	水曜日(祝休) 14:00~16:00	会費 1,000円/月	楽しく出来る簡単な民踊です。

（文化会館）

	No.	団体名	日時	会費等(予定)	内容
水	38	四境太鼓	水曜日(祝休) 19:00~21:00	会費 500円/月	小学生から大人までわきあいあいと活動中です。 定期的にプロの指導があります。(島根県在住 今福優先生)発表会も企画開催しています。(不定期)
金	39	洋裁同好会	金曜日(祝休) 9:00~12:00	会費 500円/月	毎回楽しくおしゃべりしながら、小物、ブラウス、パンツ等作ってみませんか？

4 図 書 館

1 運営およびサービス方針

大人と子どもともに、本離れが進んでいる。電子書籍やインターネットの利便性とは異なる、本を手にする事で得られる体験をより多くの方に提供することを第一に考えることとする。

まず、子どもに本との出会いの機会を提供するために、館内を子どもにも分かりやすく整理するとともに、本の魅力を引き立てる展示を心がける。こども園・小学校、中学校など、子どもにかかわる地域の様々な機関や組織と連携を取りながら、子どもの読書活動の推進に努めることとする。

また、大人に対しては、本に関する情報の提供に努めることとする。書架を整理するとともに、スペースを拡充し、関連書籍をまとめるなど、利用者の視点に立ち利便性の向上を心がける。展示コーナーを分かりやすくコーナー化し、本の魅力を伝える起点となるよう工夫するなど、読書活動の推進により一層力を入れることとする。

「図書館運営の基本方針」

「和木町第五次総合計画」に基づく、豊かな心を育むまちづくりの一環として生涯学習の推進を図るため、町民の多様化、高度化する情報や教養のニーズに適切に対応することが重要な課題となっている。

このため和木町立図書館は、生涯学習推進計画の体制として以下のことを基本方針とする。

- (1) 町民の読書活動を支援し、町民一人ひとりが公平に図書館サービスを享受できるような支援体制を構築することを目指す。
- (2) 人間形成（心の教育）の重要性から、子どもの読書活動を積極的に推進し、子どもたちの読書環境の充実を図ることを目標とします。
- (3) 上記の目標を達成するため図書館が主体となり、読書活動推進基盤の整備を図り、普及・啓発活動を行います。
- (4) 利用者の要求に応えうよう、各分野にわたりバランスのとれた資料の選定収集を図ります。
- (5) 利用者が資料をすぐに見つけられるように、書架及び展示架の案内表示を充実させます。
- (6) 希望する資料の予約・リクエスト制度を周知させ、利用者への資料提供を実現します。
- (7) 利用者からの質問や調査研究に、迅速かつ的確に答えられるように、レファレンスサービス（参考業務）の充実に努めます。
- (8) 館内を常に快適な環境に保ち、利用者がゆったりと気持ちよく過ごせるように配慮します。



一般展示コーナー

2 本年度の努力点

利用者が快適に過ごせる読書環境づくりとして、充実した資料の収集、提供に心がけてサービスを行った。幅広い本に触れることができ

るようにとの思いから、展示コーナーの充実に取り組んでいる。文学賞受賞作や映像化された小説、話題の事柄・人物に関する書籍を分かりやすく紹介するとともに、季節に沿った実用書や、様々な企画展示を随時更新している。視点を変えることで、目にとまりにくい分野の本を手にとってもらう機会としたい。漫然とした展示にならないよう、コーナーの場所を見直すとともに増設するなどした。目を引くよう配置や選書に工夫し、図書館を利用する楽しみを伝える場となることをめざしている。

児童コーナーでは、既存の図書をより魅力的に捉えてもらうための工夫として、配置の変更や棚の増設、展示スペースの充実に努めている。読書をとおして興味の幅が広がることを願い、テーマに沿って関連図書をまとめるなどしている。

幼児コーナーでは、展示スペースを増やし、埋もれがちな絵本の中から季節や行事などのテーマで絵本を展示。子どもたちに人気の絵本作家やシリーズの展示を通年行っている。これから話題になりそうな新進絵本作家やシリーズを発掘し、貸出につなげていきたい。

一般コーナーと児童コーナーの中間に位置するYA（ヤングアダルト）コーナーは、どちらからも目につきやすい場所となる。子どもも大人も楽しむことができる図書を集めている。小学校高学年から中高生・一般までを対象とした小説の他、映像化された作品の原作やノベライズ本などが人気である。

また、子どもたちが将来を考えるきっかけにしてほしい図書や、親子で取り組みたい話題などを意識した企画を展開している。場所の利点を活かし、YAコーナーを拡充し、話題の本・おすすめの本を紹介するコーナーを設けた。必ず立ち寄り利用する人も多く、より充実したコーナーをめざしたい。



児童展示コーナー



YA展示コーナー

3 今後の課題

新型コロナウイルスが5類に移行後、貸出点数、利用者数ともに減少傾向である。行動の規制がなくなり、旅行に関する図書の貸出数が急激に伸びるなどしており、利用者の求める図書の変化にも敏感に対応したい。一方、児童に関しては、放課後に友だちと連れ立っての来館が戻りつつあるように感じる。テーブルの周囲に、人気の小説や学習に役立つシリーズをまとめるなど、配置を考えながら貸し出しの増加につなげたい。

また、9月に外壁工事が始まって以降は、工事の騒音等で、貸出点数、利用者数が減少している。工事完了後に再び利用者が戻るよう、工夫していきたい。

4 事業概要

(1) 読み聞かせ活動

おはなし会サークル「ゆびとま」による小学校への出前おはなし会は18年目を迎えた。図書館での定例おはなし会（毎月第3土曜日開催）に加え、小学校・こども園でのおはなし会、中学校での朗読放送を行っている。新規メンバーの加入もあり、現在8人のメンバーが精力的に活動している。

小学校での読み聞かせ活動は、学期ごとに各クラスを訪問し、それぞれ15分間の読み聞かせを行っている。

3学期	2月27日～3月3日
1学期	6月12日～6月16日
2学期	12月4日～12月8日

小学校おはなし会日程



小学校おはなし会

毎月こども園を訪問し、各回の対象年齢に合わせて15分程度の手遊びや読み聞かせを行っている。

また、中学校では毎月1回、昼食時の校内放送を使って朗読会を行っている。

3学期		1学期		2学期	
1月16日	年少	4月24日	年長	9月19日	年中
2月20日	年長	5月15日	年中	10月17日	年少
3月20日	年中	6月19日	年少	11月20日	2歳児
		7月18日	2歳児	12月11日	年中
		8月21日	年長		

こども園おはなし会日程

3学期	1月25日、3月1日
1学期	5月17日、7月3日
2学期	9月13日、11月22日

中学校朗読会

「物語を楽しんでもらいたい」という気持ちのこもった選書により、子どもたちの笑顔いっぱいの時間となっている。子どもたちの絵本を見るキラキラと輝くまなざし、ろうそくの灯の中で耳を傾ける姿が「ゆびとま」メンバーの活動力となっている。時間が限られたプログラム作りに苦心する点もあるが、おはなし会がより魅力的になるようにメンバーも熱心に取り組んでいる。

(2) ボランティア育成のための研修

現在、ボランティア登録者数は8人である。読み聞かせ活動をする中で、子どもの本に関する知識や、本の選び方など資質向上のため、おはなし会サークル「ゆびとま」では、毎月1回、勉強会を開催し、他の図書館等で行われた研修会等に参加して得た情報の復伝などの情報交換やおはなし会の反省等を含めて行っている。

(3) 図書館行事

① 古本バザー（11月25日）

古本バザーは午前中2時間の開催であった。今回は外壁工事中のため、会場最寄りの入り口が使えず、駐車場までの距離もあることから、来場者数は例年より減少した。しかし、ゆっくりと本を選ぶ姿が多く見受けられ好評であった。

② 読書感想画コンクール

読書感想画コンクールでは、97点の応募があり、8人の入賞者が決定し、11月25日に表彰式を行った。子どもらしい大胆な構図や多彩な色を使っ作品が揃った。作品を審査していただいた島崎先生からも、子どもらしくのびのび描かれているとの講評があった。

表彰式

入賞者名



金 賞	西田 圭
	三ツ股 穂華
銀 賞	國弘 花南
	山根 咲帆
銅 賞	松本 逢暉
	松本 權李
	村木 陽人
	村田 呼春

③ 幼児・小学生への読書活動推進

毎月定例のおはなし会は、図書館おはなしの部屋で開催している。館内掲示やHP、貸出票での告知などに努めている。参加者数の増加は今後も課題であるが、楽しみにしているという声も寄せられ、励みとなっている。幼い頃から絵本に触れ合うことは、子どもの心を育て、心を豊かにし、想像力を育むとともに、集中力がつき、知的好奇心が育ち、語彙が増え、読解力が身に付き、長じては学力に影響することから、親子連れを中心に啓発活動を行っていきたい。

また、HPにおいて展示企画の紹介などに積極的に取り組んでいる。おはなし会で取り上げた本のタイトルの問い合わせも多く、今後わかりやすく紹介したいと考えている。

5 図書館利用状況

図書館利用統計のまとめ（本館のみ）（令和5年1月～令和5年12月）

人口（人）	5,876	12月1日現在（総人口）
登録者数（人）	2,865	12月末日現在（町内のみ）
貸出冊数（冊）	58,627	12月末日現在
蔵書冊数（冊）	75,755	12月末日現在（図書のみ）

貸出点数

月	一般図書	児童図書	郷土資料	雑誌	CD	DVD	R5 合計	R4 合計	昨年比
1	2,209	2,297	5	403	195	39	5,148	2,091	3,057
2	2,245	2,126	6	341	241	42	5,001	2,098	2,903
3	2,396	2,264	8	407	231	39	5,345	5,271	74
4	2,209	1,900	7	351	275	49	4,791	5,103	▲ 312
5	2,040	2,033	12	318	268	54	4,725	5,025	▲ 300
6	2,135	2,367	7	317	216	31	5,073	5,416	▲ 343
7	2,165	2,801	1	310	266	48	5,591	6,159	▲ 568
8	2,393	2,993	1	367	263	74	6,091	6,482	▲ 391
9	1,987	2,203	6	308	223	35	4,762	5,037	▲ 275
10	1,572	1,571	2	249	190	19	3,603	4,566	▲ 963
11	1,812	1,796	4	264	188	33	4,097	5,385	▲ 1,288
12	1,852	2,046	4	262	202	34	4,400	4,482	▲ 82
R5 合計	25,015	26,397	63	3,897	2,758	497	58,627	57,115	1,512
R4 合計	24,755	24,860	52	4,055	2,841	552	57,115		
昨年比	260	1,537	11	▲ 158	▲ 83	▲ 55	1,512		

年齢階層別利用人数

月 \ 歳	0-6	7-12	13-15	16-18	19-22	23-29	30-39	40-49	50-59	60～	R5 合計	R4 合計	前年比
1	82	158	18	9	7	15	174	242	112	521	1,338	573	765
2	64	142	16	13	8	26	158	234	118	539	1,318	587	731
3	76	159	29	15	6	13	147	240	145	599	1,429	1,495	▲ 66
4	68	115	18	7	15	15	170	205	133	590	1,336	1,434	▲ 98
5	56	112	10	4	10	19	144	240	135	532	1,262	1,348	▲ 86
6	91	147	13	6	12	22	146	242	126	543	1,348	1,465	▲ 117
7	94	165	38	14	16	17	187	290	150	511	1,482	1,631	▲ 149
8	83	226	58	23	7	23	222	286	124	612	1,664	1,753	▲ 89
9	71	103	12	5	13	16	187	202	111	507	1,227	1,396	▲ 169
10	54	76	16	3	7	14	121	161	94	399	945	1,239	▲ 294
11	55	83	15	4	8	14	141	192	131	432	1,075	1,340	▲ 265
12	69	118	15	2	8	16	149	190	134	468	1,169	1,199	▲ 30
R5 合計	863	1,604	258	105	117	210	1,946	2,724	1,513	6,253	15,593	15,460	133
R4 合計	802	1,683	247	99	41	252	2,027	2,772	1,506	6,031	15,460		
前年比	61	▲ 79	11	6	76	▲ 42	▲ 81	▲ 48	7	222	133		

５ 体 育 セ ン タ ー

１ 運営方針

体育センターの利用者は以前と比較すると大幅に減少（庭球場を除く）している。趣味の多様化や少子高齢化が進んできている現在、体育センターに求められるニーズも変化してきている。スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりはもちろんのこと、町民相互の連帯意識を醸成するための拠点として、利用者のニーズに対応した体制整備を行うため、総合型地域スポーツクラブを中心とし、和木町役場関係各所との連携を模索し、総合的なスポーツ振興策を実施していく。また、町民誰もが健康づくりとしてスポーツに親しみが持てる環境の整備を行い、高齢者の健康寿命延伸と多世代が交流する憩いの場づくりを主眼に運営をしていく。

２ 本年度の努力点

- ① 利用しやすい環境の整備 ②新しいスポーツに触れる機会の醸成
- ③ ウォーキング等、取り組みやすい運動への参加機運の醸成

３ 主催事業

（１） 和木町体育センター・和木町庭球場開放事業

全体としては昨年に比べて利用者が増えているが、主に団体利用の増加に起因するものであり、庭球場は前年に比べると４月以降ほとんどの月が減少となっている。

	個人合計（人）		団体合計（人）		庭球場（人）		総合計（人）	
	2023 年	昨 年	2023 年	昨 年	2023 年	昨 年	2023 年	昨 年
1 月	405	9	1,310	8	541	53	2,256	70
2 月	491	193	1,450	228	445	107	2,386	528
3 月	932	725	1,660	1,153	690	641	3,282	2,550
4 月	667	416	962	1,255	344	642	1,973	2,313
5 月	493	520	1,436	966	468	546	2,397	2,032
6 月	344	393	1,638	1,549	466	560	2,448	2,502
7 月	523	488	1,528	999	589	706	2,640	2,193
8 月	556	460	966	838	522	563	2,044	1,861
9 月	419	432	1,253	1,106	552	602	2,224	2,140
10 月	455	507	1,409	1,085	525	636	2,389	2,228
11 月	592	499	1,157	1,144	502	600	2,251	2,243
12 月	526	594	1,214	1,103	404	555	2,144	2,252
合計	6,403	5,236	15,983	11,434	6,048	6,242	28,434	22,912

近年、町外利用が増えており、遠くは広島市からの来所がある。また、バスケットボールが団体利用のみならず、個人利用でも数多く来所されている点が最近の傾向となっている。

(2) 和木町スポーツ教室

一般の方々（初心者）を対象とした各種スポーツ教室を実施した。バドミントン教室は募集開始後、約1週間で定員（20人）に達するほどで、毎年多くの子どもたちが受講している。卓球教室は高齢者の申込みが多く、また、少数ながら小学生も参加しており、高齢者の憩いの場や多世代間交流の場にもなっている。体力づくり講座は昨年度に引き続き応募がなかったため、開講しなかった。

教 室 名	受講者数(前年度)	開講時期	時 間 帯
体力づくり講座	0人(0人)	4月～3月	毎週土曜日 9:30～11:30
卓球教室(前期)	24人(22人)	4月～7月	
バドミントン教室(前期)	20人(20人)	4月～7月	
卓球教室(後期)	22人(19人)	12月～2月	
バドミントン教室(後期)	25人(21人)	12月～2月	



卓球教室



バドミントン教室

(3) プール一般開放

① 対象施設別開放期間・利用者数

	町民プール	小学校プール	中学校プール
開放期間	7/21～8/31 39日間	一般開放なし	7/21～8/31 39日間
利用者数	371人 (R4: 420人)		429人 (R4: 421人)

② 開放中止の基準と対応

熱中症対策として、岩国地域に熱中症警戒アラートの暑さ指数が 31 以上の日は午後から、また、台風や雷注意報の発令の際もプール開放を中止した。(28 日：昨年度 19 日)。

4 各スポーツ関係団体の活動状況

(1) 和木町スポーツ推進委員

和木町スポーツ推進委員は、町におけるスポーツの推進のため、事業の実施にかかる連絡調整や住民に対するスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとされており、各委員がそれぞれの立場から活動している。

役 職	氏 名
会 長	増井 幸伸
委 員	竹本 秀喜、嘉屋 真奈美 小林 浩貴、片岡 紀子

(2) 和木町体育協会

和木町体育協会は、日常の活動や大会等の実施を通して、健康づくりと技術面の向上を図り、体育の振興及び生涯スポーツの推進に寄与している。近年は高齢化や趣味の多様化により、部員数の減少や部の統廃合が進んでいるため、持続可能な運営を行っていききたい。

① 役員体制(令和 5 年 12 月 15 日 現在)

役 職	氏 名	所 属
会 長	山瀧 芳久	バドミントン部
副会長	嘉屋 真奈美	バドミントン部
	小林 浩貴	バドミントン部
理事長	竹本 秀喜	弓道部・硬式テニス部
副理事長	原川 泰一	剣道部
	吉本 武尚	剣道部
	休萬 ひとみ	バドミントン部
	三上 学	バドミントン部
監 査	中村 恭二	弓道部
	岡崎 紀子	卓球部

② 部名及び部員数(令和5年12月15日現在)

部 名	部員数	部 名	部員数
ソフトテニス	33 人 (32 人)	バドミントン部	38 人 (34 人)
硬式テニス	29 人 (30 人)	弓道	47 人 (48 人)
剣道	6 人 (6 人)	卓球	20 人 (20 人)
合計		173 人 (170 人)	

() 内は昨年度の人数

③ 主催大会

ソフトテニス部

和木町春季ソフトテニス大会	和木町庭球場	6 月 17 日	20 人
和木町夏季ソフトテニス大会	和木町庭球場	8 月 19 日	17 人
和木町秋季ソフトテニス大会	和木町庭球場	10 月 21 日	17 人

弓道部

射初会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	1 月 14 日	19 人
和木町町制施行 50 周年巴射会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	6 月 3 日	27 人
納射会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	12 月 9 日	21 人

バドミントン部

わきあいあいバドミントン大会	和木町体育センター	4 月 16 日	96 人
和木町近郊春季バドミントン大会	和木町体育センター	6 月 18 日	114 人
基礎練習会	和木町体育センター	7 月 2 日	30 人
交流会	和木町体育センター	9 月 24 日	37 人
和木町近郊秋季バドミントン大会	和木町体育センター	12 月 3 日	84 人

(3) 和木町スポーツ少年団

和木町スポーツ少年団は、昭和 47 年に 3 団体 78 人から発足し、近年は少子化等により、団員数が減少しており、令和 5 年 12 月 15 日現在で 7 団体 108 人が活動している。スポーツ少年団活動が健全な心と身体をつくり、仲間同士互いに励ましあい、友情の輪を広げていく場となっている。

課題として、少子化による団員数減のため単独チームが組めず、他の市町との合同チームを編成して大会出場する部がある。また、参加大会の増加による部員の多忙化が挙げられる。

① 団員数(令和5年12月15日現在)

部 名	部員数	部 名	部員数
サッカー	28 人 (25 人)	バレーボール	8 人 (16 人)
ソフトボール	22 人 (23 人)	剣道	15 人 (9 人)
軟式野球	7 人 (8 人)	日本拳法	3 人 (1 人)
ミニバスケットボール	25 人 (25 人)	合計	108 人 (107 人)

昨年度比 団員数＋1人

② 主催大会の開催状況

和木町近郊ソフトボール大会(9月18日)

和木町近郊スポーツ少年団サッカー大会(11月12日)

③ 各団体の成績(抜粋)

サッカー部

周防地区サッカー浅江島田 D 大会 U-9	光スポーツ公園	6 月 17 日	準優勝
第 16 回東部 U-19 サッカーフェ スティバル	光スポーツ公園	7 月 22 日	優勝
KENDOCUP	愛宕 GOGO フィールド	7 月 30 日	優勝
広島佐伯近郷少年親善ソフト ボール大会	廿日市市阿品第中学校等	9 月 3 日	優勝

ソフトボール部

岩国リーグ第 1 節	蜂ヶ峯総合公園	4 月 2 日	優勝
第 33 回廿日市親善少年ソフトボ ール大会	廿日市市阿品台中学校	4 月 9 日	優勝
SA 杯第 26 回安佐南少年親善ソフ トボール大会	広島女学院大学	5 月 14 日	準優勝
第 37 回横山友好ソフトボール大 会	横山河川敷運動広場	6 月 25 日	第 3 位
岩国リーグ会長旗	横山河川敷運動広場	7 月 15 日	第 3 位
第 13 回灘リーグ会長旗	横山河川敷運動広場	7 月 17 日	第 3 位

第 16 回府中北親善ソフトボール大会	出島沖グラウンド	7 月 23 日	準優勝
Jr. 周東・若竹友好ソフトボール大会	サン・ビレッジ周東	8 月 11 日	準優勝
第 22 回銀祇杯争奪ソフトボール大会	祇園小学校	8 月 20 日	第 3 位
第 15 回シゲオカスポーツ杯	横山河川敷グラウンド	9 月 2 日	優勝
第 36 回食協旗争奪少年ソフトボール大会	出島沖グラウンド	9 月 10 日	準優勝
第 41 回和木町近郊ソフトボール大会	蜂ヶ峯総合公園	9 月 18 日	第 3 位
第 5 回周南市近郊少年ソフトボール大会	周南緑地公園	9 月 24 日	優勝
第 27 回北九州地区-広島・岩国地区交流親善小学生ソフトボール大会	横山河川敷運動公園	10 月 8 日	第 3 位
第 42 回清流線少年少女親睦球技大会	岩国高校広瀬分校	10 月 15 日	準優勝
岩国リーグ新人戦	蜂ヶ峯総合公園	11 月 5 日	優勝

ミニバスケットボール部

柳井ミニバス連盟チャリティ交歓会	柳井市バタフライアリーナ	4 月 22 日	Aブロック 2 位
第 17 回はせがわともよ Cup2023	山陽小野田市市民体育館	5 月 4 日	第 2 位
第 33 回三戸杯争奪バスケットボール大会	華浦小学校	7 月 30 日	優勝
第 42 回大竹市近郊ミニバスケットボール大会	大竹市総合体育館	9 月 9 日 10 日	準優勝
トーショク神崎カップ	広島グリーンアリーナ	9 月 18 日	Aブロック 2 位
おくびの山カップ	庄原市総合体育館	9 月 24 日	優勝
秋のグリーン杯 2023	福山市沼隈体育館	10 月 7 日	優勝

第 13 回原田カップ	尾道市長者原スポーツセンター	10 月 8、9 日	優勝
第 32 回近府県選抜ミニバスケットボール大会	香川県善通寺市民体育館	11 月 3、4 日	第 3 位

(4) 和木町総合型地域スポーツクラブ

平成 26 年度に設立され、主な活動は、体育協会が行っていた事業を引く継ぐ形で実施していたが、近年、テニススクールや剣道教室、フィギュアスケート教室など各種事業を数多く手掛けるようになってきている。今後も各種団体と連携しながら、地域を総括するクラブとしての活動が期待されている。

① 会員構成

合計 215 人(和木町スポーツ推進委員協議会 5 人、和木町体育協会 173 人(和木町スポーツ推進委員協議会 4 名含む)、和木ミニバス 35 名、一般 2 人)

② 事業実施状況

ア テニススクール(和木町庭球場)

対 象 初心者・初級・中級者
講 師 体育協会硬式テニス部
竹本 秀喜、北野 忠、
浴 哲雄、早田 定生



期 間 第Ⅰ期 4月5日～ 5月24日
第Ⅱ期 7月5日～ 8月23日 第Ⅲ期 10月11日～11月29日
期間中毎週水曜 各8回 18時30分～20時30分
参加者 第Ⅰ期 13人(R4:12人) 第Ⅱ期 13人(R4:12人)
第Ⅲ期 16人(R4:11人)

イ 第32回和木町ゴルフ大会(和木ゴルフ倶楽部)

期 日 5月5日
参加者 121人(R4:152人)

ウ 地域安全交流ソフトボール大会
(蜂ヶ峯総合公園グラウンド)

期 日 10月8日
参加者 3チーム 36人



以前は、参加チーム数が多かったが、近年は参加チームの減少が甚だしい。参加者は全て男性ということもあり、老若男女を問わず参加できる種目の検討の余地がある。

エ わきスポーツフェスタ(体育センター、和木町庭球場、蜂ヶ峯総合公園)

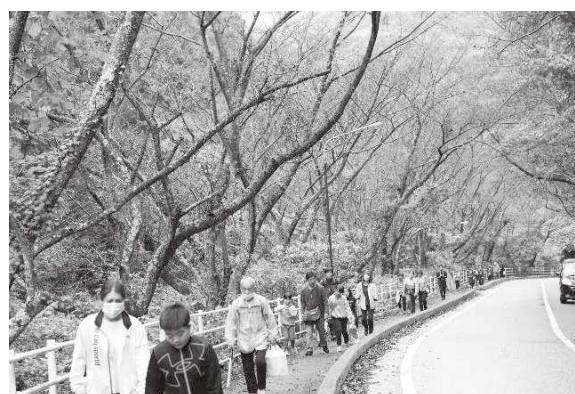
期 日 10月9日

種 目	当日参加者数		備 考
	令和5年度	令和4年度	
ウォーキング	34	30	
卓球体験	20	15	
硬式テニス体験	22	8	
バドミントン体験	24	8	
弓道体験	28	—	初開催
スケートボード講習会	19	—	初開催
合 計	147	61	

今年度は岩国地域のスポーツフェスタを兼ねることとなり、広域にわたり広報を行った。その結果、定員のないウォーキングを除き、全ての種目において定員を超える申し込みがあり、参加者は大幅増となった。

今年度新たに、弓道体験、スケートボード講習会を開催したが、弓道体験については町内外から多くの方が参加した。一度に多くの方が集まってしまい、運営面で課題を残した。

また、スケートボード講習会も子ども達に大変好評だったが、来年度も継続していく上で、経費面においての問題が明確になった。



オ わき愛あいフェスティバル

(ニュースポーツ紹介：モルック)

期 日 10月29日

毎回行っているニュースポーツの紹介では、今年度はスウェーデン発祥のモルックを

行った。116名の参加があり、一時は順番待ちの列ができるほどの人気となった。

カ わきあいあいウォーク（初開催）

10月、11月の2ヶ月にわたり、保健福祉課、都市建設課と共催でわきあいあいウォークを開催した。やまぐち健幸アプリ等を使用し、



10月、11月、10・11月の3つの部門に分かれて歩数を競った。31名の参加があり、12月8日に上位入賞者に対し表彰を行った。また、やまぐち健幸アプリ内のデータを参照すると、和木町は下表のとおり8月の5位から順調にランキング、歩数を伸ばしており、11月には1位となった。ウォーキングは気軽にできて、健康増進にもつながるため、来年度以降も引き続き開催をめざしたい。

やまぐち健幸アプリの地域別結果（1人あたりの平均）

	8月		9月		10月		11月	
	市町名	歩数	市町名	歩数	市町名	歩数	市町名	歩数
1位	阿武町	88,007	阿武町	84,997	阿武町	100,754	和木町	93,535
2位	田布施町	63,119	田布施町	66,469	和木町	90,777	阿武町	78,873
3位	平生町	62,835	和木町	65,482	田布施町	82,920	田布施町	71,663
4位	美祢市	58,485	美祢市	64,065	下松市	82,225	光市	67,849
5位	和木町	56,153	下松市	63,655	光市	80,389	美祢市	67,158

やまぐち健幸アプリ登録者数（和木町）

2023年6月…123人

11月…160人

キ フィギュアスケート教室

期 日 12月17日

昨年度より体育協会主催で開催されたフィギュアスケート教室は、今年度より総合型地域スポーツクラブで開催することとなった。昨年度同様、子どもたちに大変人気があり、すぐに定員（25名）に達した。



滑り始めは手すりを離すことができず、よちよち歩きしかできない参加者もいたが、指導者の方による指導により、終わるころにはみんな笑顔で滑ることができるようになっていた。

ク 剣道教室

こども園の年長から小学6年生を対象に2月21日から3月31日にかけて全8回に渡り開催された。町内より3名の参加があり、日本古来の武道に触れ合う機会を楽しんだ。

5 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大の直接的な影響はほぼなくなり、前年度と比較すると利用者が増えてきた。コロナ禍以前に行っていた行事は、おおよそ開催することができた。

近年引き続いている課題として体育協会所属団体やスポーツ少年団員数の減少が挙げられる。部員の減少による廃部や休部が増え、今後も会員・団員数は減少傾向にあることが予想される。これに伴い、各部の主催事業も減少している部もあるが、総合型地域スポーツクラブにおいて理事長を中心に既存の行事の見直しや新規事業の企画（令和4年度にはフィギュアスケート教室、令和5年度にはボルダリング講習会、スケートボード体験会、弓道体験、わきあいあいウォーク）を行い、体育協会（総合型地域スポーツクラブ）への加入につなげている。また、事務局主体の運営から徐々に役員・会員主体の運営へのシフトを引き続き図っていく。

和木町のスポーツ人口の増加や町民の健康増進のために、誰もが気軽にスポーツを始めることができ、継続して取り組むことができる環境を整備することが求められる。各スポーツ団体が主催する大会、教室やイベントがそのきっかけとなるように総合型地域スポーツクラブの役員・会員や行政と連携して企画・周知を行い、スポーツの振興に加え、スポーツ・レクリエーションを通じた多世代交流の場を醸成できるよう尽力していきたい。

施設面では、昭和59年に建設され築39年を迎えたが、老朽化が進み、長年に渡る雨漏り、怪我につながりかねないアリーナ内壁の剥がれ・アリーナ床の浮きの改修、バスケットゴールの改修について重点的に予算を確保し、安全安心な施設として、また、気軽に立ち寄り、世代間を超えた交流場所としての整備を行っていきたい。

6 美術館

1 運営方針

(1) 事業について

町民の文化・芸術に触れる機会を提供するため、今年度は自主事業として夏休み子ども向け展示を行い、さらに文化協会及び文化協会傘下団体主催の展示を行った。なお、ここ数年開催していた、園小中教職員陶芸展及び姉妹都市交流作品展については、こども園や学校内で展示することとし、美術館での展示は実施しなかった。

(2) 宣伝

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最低限の周知活動としたが、今年度は和木美術館に1人でも多く足を運んでいただけるよう、ポスターやチラシを早めに作成して、コミュニティセンターや図書館、学校など人が集まる場所に配布し、広く展示会を呼びかけた。

また、従来の広報や町ホームページによる宣伝だけでなく、岩国地域の情報誌やFacebook、和木町公式LINE・Instagramにも掲載するなど、周知方法も工夫した。



2 事業の概要

(1) 自主事業

① 夏休み子ども向け展示

ア 開催日時 前半：8月9日(水)～15日(火) 毎日10時00分～17時00分
後半：8月19日(土)～28日(月)

イ テーマ 前半：みて！さわって！体験できるわくわく水族館
後半：はたらく乗り物プレイランド

ウ 内容 前半：50種類の海の生き物が集結した移動式水族館。実際に魚に触れるこ

とができる水槽や「貝殻さがし」「アクア縁日」など多種多様なコーナーを用意した。

後半：ショベルカーの操縦体験やブルドーザーふわふわ、ペダルカー、新幹線の模型など多くの乗り物遊具をそろえたプレイランド。

エ 来場者数 前半：2,938 人

後半：2,075 人

オ 特記事項 和木町町制施行 50 周年記念事業として実施。途中で展示替えを行い、2 種類の展示を実施した。イベント 3 社から企画書を提案いただき、コンペを開催し、実施内容を決定した。

カ 実施報告 前半は親子や祖父母 3 世代での来館者が多く、子どもも保護者も楽しめる内容で連日大盛況であった。後半は特に園児から小学校低学年の児童に人気が高く、リピーターが多かった。

昨年度から子ども向け展示を再開しており、夏休みに和木美術館に來れば何かやっている、と楽しみにされている来館者の姿も見受けられた。



② 特別公演

ア 開催日時 8月10日(木) 10時30分～11時40分

イ 会場 和木中学校多目的ルーム

ウ テーマ ロケットくれよんファミリーコンサート

エ 内容 全国でコンサートや保育士向け講演会などを行っている2人組あそびうたデュオ「ロケットくれよん」によるファミリーコンサート

オ 来場者数 216人

カ 特記事項 和木町町制施行50周年記念事業として実施。コンサートの内容や来館人数、音響設備を考慮し、中学校多目的ルームで開催した。

キ 実施報告 保護者と子どもと一緒に体を動かせるうたあそびやダンスに加え、ピアノやギターの弾き語り、スクリーンを使用した絵本の読み聞かせなどもあり、親子のふれあいの場を提供することができた。アンコールもあり、コンサートは大盛況のうちに終了した。



これまでの夏休み展示会における年度別開催内容と来館者数

開催年度	展示内容	開催期間		来館者数	1日あたり
23年度	恐竜展	7月23日～8月21日	30 日間	2,400 人	80.0 人
24年度	トリックアート	7月28日～8月26日	30 日間	7,825 人	260.8 人
25年度	鉄道展	7月27日～8月25日	30 日間	3,310 人	110.3 人
26年度	水族館	8月1日～8月17日	16 日間	5,568 人	348.0 人
27年度	だんばーる迷路	7月31日～8月16日	17 日間	5,366 人	315.6 人
28年度	トリックアート	7月29日～8月14日	17 日間	5,608 人	329.9 人
29年度	ニンジャキッズ	7月29日～8月14日	17 日間	4,164 人	244.9 人
30年度	バーチャル飛行体験	8月3日～8月19日	17 日間	2,431 人	143.0 人
元年度	光と遊びデジタルアートパーク	8月2日～8月18日	16 日間	4,090 人	255.6 人
2年度	※実施中止		日間	人	人
3年度	※実施中止		日間	人	人
4年度	トリック3Dアート展	8月5日～8月21日	17 日間	1,533 人	90.2 人
5年度前半	わくわく水族館	8月9日～8月15日	7 日間	2,938 人	419.7 人
5年度後半	はたらく乗り物プレイランド	8月19日～8月28日	10 日間	2,075 人	207.5 人

※26年度と元年度は台風接近のため各1日ずつ臨時休館

(2) 貸館事業

文化協会及び文化協会加入団体主催の展示が3種類行われた。新型コロナウイルス感染拡大により、中止が続いていた「第10回和木町絵画美術展」は平成31年以来の開催となり、来館者数は前回は上回った。文化会館で行われている「キッズ芸能祭」の代替事業で、2年連続で開催していた「キッズ・フォトコンテスト作品展」については、今年度は「キッズ芸能祭」が文化会館で開催されたため、実施しなかった。

「令和5年和木町文化協会文化祭展示会」は昨年度に引き続き開催され、お茶席も4年ぶりに行われた。途中で展示替えを行い、前半と後半で内容の異なる展示を行っている。この展示会は、令和元年度まで5週にわたって展示会が行われたが、出展団体の高齢化やコロナ禍で十分に活動ができず出展を辞退した団体もあり、以降は2週・10日間と開館日数を短縮して開催している。詳細は総合コミュニティセンターの文化協会事業を参照いただきたい。

また、昨年に引き続き公民館認定団体や役場主催のイベントでの使用があり、例年になく多種多様な団体や使用があった。

3 成果と課題

美術館事業は、和木美術館設置の趣旨である、「町民の芸術文化に対する意識を深め、地域の活性化及び地域づくりを進める」ことについて、和木町文化協会主催による文化祭展示会をは

じめとする関係各団体による利用もあり、一部の町民については関心が高い事業となっている。

今年度は新型コロナウイルスの扱いが5類に移行したこともあり、開館状況がコロナ禍以前の水準に戻りつつある。

また、昨年度に引き続き公民館認定団体による活動や町長部局の主催事業が開催されるなど、展示会以外の美術館利用も増加している。

しかしながら、開館当初と比較すると、年間開館日数は依然少ない状態が続いている。加えて出展団体の高齢化や活動規模縮小が顕著であり、更なる展示期間の短縮や展示そのものになることが懸念される。

施設の規模や設備から大々的な展示は不可能であることから、既存の展示会の内容充実や展示会以外での利用をさらに増やすなどの対策を行い、稼働率を向上させる必要がある。

4 図表

(1) 美術館各展示会とイベントの入館者等実績

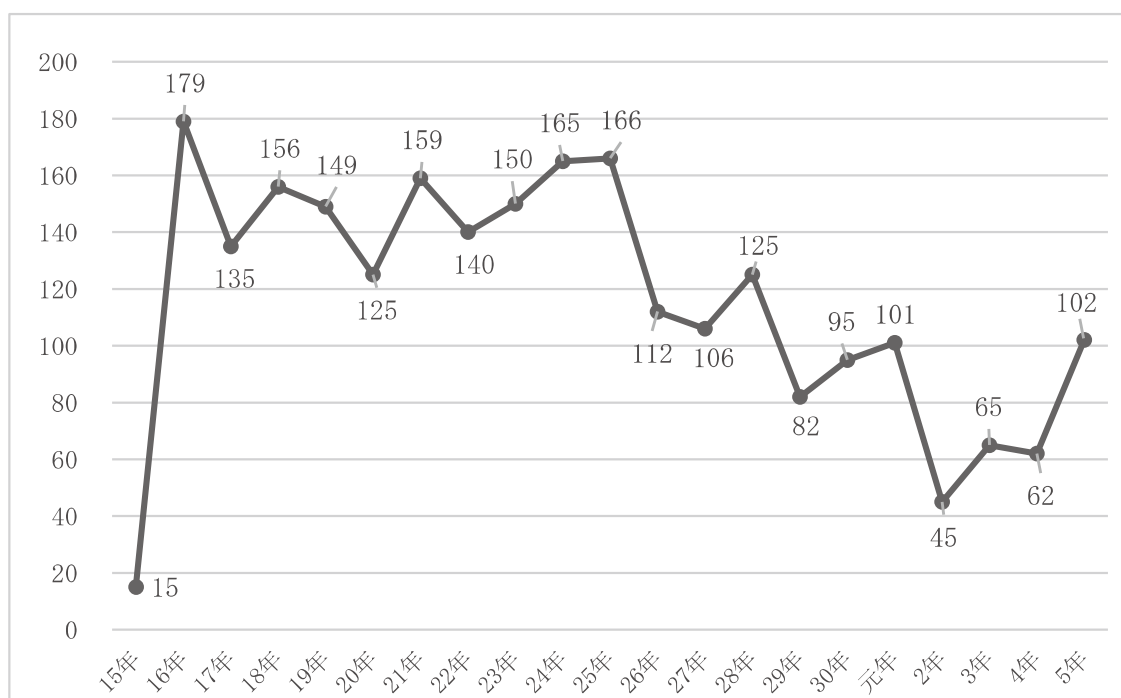
展示・使用名称		開催日		日数	来館者数
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	1月9日	1月9日	1 日	22 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	1月23日	1月23日	1 日	25 人
町美術展覧会作品搬入	☆	1月28日	1月28日	1 日	170 人
町美術展覧会作品審査	☆	1月29日	1月29日	1 日	12 人
第10回和木町絵画美術展覧会準備	☆	2月10日	2月10日	1 日	12 人
第10回和木町絵画美術展覧会	☆	2月12日	2月26日	15 日	578 人
絵画二人展搬入	△	3月1日	3月1日	1 日	8 人
絵画二人展作品展	△	3月2日	3月9日	8 日	418 人
絵画二人展搬出	△	3月10日	3月10日	1 日	8 人
はっち弦楽合奏団	☆	3月12日	3月12日	1 日	15 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	3月13日	3月13日	1 日	27 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	3月27日	3月27日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	4月7日	4月7日	1 日	12 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	4月10日	4月10日	1 日	26 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	4月24日	4月24日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	5月8日	5月8日	1 日	27 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	5月22日	5月22日	1 日	23 人

第23回絵画クラブ作品展	☆	6月2日	6月5日	4 日	117 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	6月12日	6月12日	1 日	27 人
フラワーフレンズ準備	◇	6月15日	6月16日	2 日	8 人
フラワーフレンズ	◇	6月17日	6月17日	1 日	40 人
フラワーフレンズ撤収	◇	6月18日	6月19日	2 日	6 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	6月26日	6月26日	1 日	23 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	7月7日	7月7日	1 日	11 人
ふるさと、はぐくみセミナー準備	◇	7月7日	7月7日	1 日	3 人
ふるさと、はぐくみセミナー	◇	7月10日	7月10日	1 日	35 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	7月24日	7月24日	1 日	22 人
一般社団法人足管理健康協会 健康セミナー	△	7月31日	7月31日	1 日	40 人
夏休み子ども向け展示（前半）搬入	○	8月8日	8月8日	1 日	5 人
夏休み子ども向け展示（前半）	○	8月9日	8月15日	7 日	2,938 人
夏休み子ども向け展示（前半）搬出	○	8月16日	8月16日	1 日	5 人
夏休み子ども向け展示（後半）搬入	○	8月17日	8月17日	1 日	2 人
夏休み子ども向け展示（後半）	○	8月19日	8月28日	10 日	2,075 人
夏休み子ども向け展示（後半）搬出	○	8月29日	8月30日	2 日	2 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月1日	9月1日	1 日	13 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月11日	9月11日	1 日	23 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月15日	9月15日	1 日	18 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月18日	9月18日	1 日	23 人
和木町包括支援センター	◇	9月29日	9月30日	2 日	40 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	10月6日	10月6日	1 日	21 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	10月9日	10月9日	1 日	22 人
町たんけんin和木美術館	◇	10月10日	10月10日	1 日	23 人
和木町文化協会文化祭展示会1 準備	☆	10月24日	10月24日	1 日	40 人
和木町文化協会文化祭展示会1	☆	10月25日	10月29日	5 日	306 人
和木町文化協会文化祭展示会2 準備	☆	10月31日	10月31日	1 日	50 人
和木町文化協会文化祭展示会2	☆	11月1日	11月5日	5 日	297 人
まちづくり懇談会準備	◇	11月21日	11月21日	1 日	10 人
まちづくり懇談会	◇	11月25日	11月25日	1 日	50 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	11月27日	11月27日	1 日	27 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月11日	12月11日	1 日	22 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月25日	12月25日	1 日	19 人
計				102 日	7,799 人
平均（人/日）					210.8 人

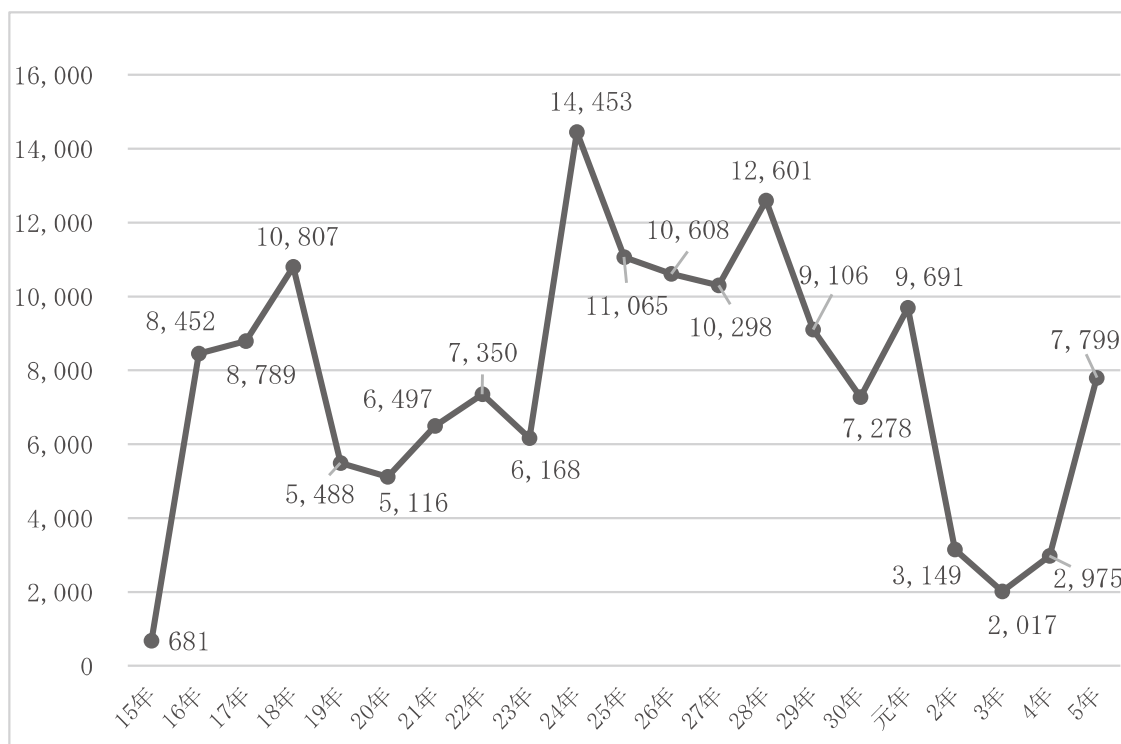
※○は主催事業、☆は文化協会及び所属団体の主催事業、□は公民館講座認定団体、
◇は教育委員会共催事業、△は一般

(2) 各年度の数値（開館日数・入場者数等）

① 年間開館日数の推移



② 年間来館者数の推移



◆教育委員会関係資料

学級編制状況（５月１日現在）

【和木こども園】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
０歳児	ひよこ組	２	０	２	福村 和子・中村 聡子
１歳児	り す組	７	４	１１	田中奈津美・村上 菜那 山田帆乃香
	うさぎ組	６	５	１１	中林 早希・谷本 亜弥
２歳児	ばんだ組	１０	５	１５	嘉屋 祥子・阿部 彩茄
	きりん組	１０	５	１５	松田香奈江・新谷 典子
年 少 （３歳児）	りんご組	１１	７	１８	福成 莉沙
	ばなな組	１１	７	１８	森本真衣美
	ぶどう組	１０	８	１８	山田 優里
	計	３２	２２	５４	
年 中 （４歳児）	たんぼ組	８	９	１７	大田 玲耶
	わかば組	７	１０	１７	宮田 知佳
	つくし組	８	１０	１８	藤野麻須美
	計	２３	２９	５２	
年 長 （５歳児）	つ き組	１０	８	１８	黒川 慶子
	ほ し組	１０	８	１８	中本 優花
	に じ組	９	８	１７	杉岡加奈子
	計	２９	２４	６３	
合 計		１１９	９４	２１３	

【和木小学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
１ 年	１ 組	１９	１３	３２	村田 愛
	２ 組	１９	１３	３２	出先りおん
	計	３８	２６	６４	
２ 年	１ 組	１５	１４	２９	宇治野暁子
	２ 組	１６	１４	３０	西村 優真
	計	３１	２８	５９	

3 年	1 組	1 9	1 3	3 2	西本 聖子
	2 組	2 1	1 4	3 5	福屋 悠一
	計	4 0	2 7	6 7	
4 年	1 組	1 5	1 8	3 3	藤谷 育子
	2 組	1 4	1 9	3 3	竹本 哲朗
	計	2 9	3 7	6 6	
5 年	1 組	1 5	1 8	3 3	倉光 聖
	2 組	1 6	1 7	3 3	田尾 祐加
	計	3 1	3 5	6 6	
6 年	1 組	1 7	1 7	3 4	田村 芳子
	2 組	1 6	1 8	3 4	吉田 幸司
	計	3 3	3 5	6 8	
やまもも		6	0	6	萬 純子
たんぽぽ		5	2	7	田中 翔
合 計		2 1 3	1 9 0	4 0 3	

【和木中学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
1 年	1 組	1 1	1 5	2 6	光貞 賢志
	2 組	1 0	1 6	2 6	橋口 京佳
	計	2 1	3 1	5 2	
2 年	1 組	1 3	2 0	3 3	岡部 光
	2 組	1 2	2 3	3 5	藤本 晴香
	計	2 5	4 3	6 8	
3 年	1 組	1 5	1 6	3 1	国光 陽子
	2 組	1 5	1 7	3 2	宮本 大輔
	計	3 0	3 3	6 3	
いぶき		3	2	5	棚倉 典子
きぼう		2	0	2	藤本えり子
合 計		8 4	1 1 1	1 9 5	

令和5年和木町教育委員会施設関連工事等

1 令和4年度(令和5年1月1日以降の契約)の主な工事、修繕等(50万円以上)

(1) 和木町総合コミュニティセンター

① ガスヒートポンプエアコン圧縮機他更新工事

ア 契約金額 2,391,400円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 工事期間 令和5年1月12日 至 令和5年3月31日

エ 目的 空調用圧縮機2台が故障し、コミュニティセンター1階の冷房、暖房の運転ができないため取替えた。

2 令和5年度(令和5年12月31日以前の契約)主な工事、修繕等(50万円以上)

(1) 和木こども園

① 和木こども園 室内機ドレンパン清掃作業業務委託

ア 契約金額 834,900円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 業務期間 令和5年9月19日～令和5年11月30日

エ 目的 空調内部の汚れが酷く、園児の健康被害の恐れがあるため、空調ドレンパンの清掃作業を実施した。

(2) 和木小学校

① 和木小学校屋内運動場照明取替工事

ア 契約金額 3,850,000円

イ 請負業者 (株)中電工岩国営業所

ウ 工事期間 令和5年6月6日～令和6年3月29日

エ 目的 水銀灯ダウンライト23灯の6灯が消灯し、交換機器がないため、全てを高天井用LED照明に取替え、LED調光コントローラーと調光リモコンを設置した。

(3) 和木中学校

① 和木中学校体育館外壁改修工事 工事監理業務

ア 契約金額 2,200,000円

イ 請負業者 (株)ますもと設計事務所

ウ 業務期間 令和5年7月27日～令和6年2月29日

エ 目 的 和木中学校体育館外壁改修工事において、工事が設計図書のとおりを実施されているか照合・確認等を行うための工事監理業務を委託した。

② 和木中学校体育館 外壁改修工事(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 28,039,000円(当初契約時)

34,116,500円(変更契約後)

イ 請負業者 (株)中谷工務店

ウ 工事期間 令和5年8月17日～令和6年2月29日

エ 目 的 外壁が老朽化し、浮き上がりや亀裂、剥落しているため、改修工事を行い、生徒や教職員の安全を確保することにより、各種教育活動の向上を図った。

③ 特別教室棟冷却水ポンプ修繕工事

ア 契約金額 748,000円

イ 請負業者 鹿島建物総合管理(株)中国支社

ウ 工事期間 令和5年7月26日～令和5年9月30日

エ 目 的 特別教室棟の空調が老朽化により冷却水ポンプが故障し冷気が出ないので非常に暑い。頻繁に教室使用している教室であるため、緊急修繕を行った。

④ 和木中学校校舎棟外壁改修工事 積算単価入替業務

ア 契約金額 605,000円

イ 請負業者 (株)ますもと設計事務所

ウ 業務期間 令和5年12月27日～令和6年3月15日

エ 目 的 令和4年度に設計・積算を行った和木中学校校舎棟外壁改修工事について、工事を実施するため、設計書単価を最新のものに更新し、工事費を再度算出した。

(4) 和木町文化会館

① 和木町文化会館空調設備端末制御装置等更新工事 工事監理支援業務(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 869,000円

イ 請負業者 (株)藤沢設計

ウ 業務期間 令和5年6月5日～令和6年3月31日

エ 目 的 文化会館空調設備端末制御装置等更新工事の実施にあたり、発注者及び工事受注者と、工事内容等について打合せや調整、協議を行った。

② 和木町文化会館空調設備端末制御装置等更新工事(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 44,764,500円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 工事期間 令和5年6月5日～令和6年3月31日

エ 目 的 老朽化した端末制御装置等(各種検出器、各種調整器、各種ダンパー操作器、各種電動弁、各種コントローラー等)の更新を行った。

③ 和木町文化会館ボーダーケーブル交換工事(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 2,310,000円

イ 請負業者 (株)宮本電工

ウ 工事期間 令和5年7月3日～令和6年3月29日

エ 目 的 ステージ上のサスペンションライトケーブル9本の硬化が進み、不具合が発生する可能性が高くなっていたため取替えた。

④ 高圧交流負荷開閉器更新工事

ア 契約金額 933,900円

イ 請負業者 (有)扶双

ウ 工事期間 令和5年5月16日～令和5年12月28日

エ 目 的 老朽化により電圧が低下しており、故障すると全館が長時間停電することから、高圧設備の一部機器を取替えた。

⑤ 集会室個別空調設置工事

ア 契約金額 1,430,000円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 工事期間 令和5年8月7日～令和5年12月28日

エ 目 的 集会室手前側のルームエアコンが故障し、奥側は老朽化が著しいため、個別空調機2台を設置した。

⑥ 文化会館カーペット張替工事

ア 契約金額 1,650,000円

イ 請負業者 藤田工業(株)和木営業所

ウ 工事期間 令和5年10月2日～令和5年11月10日

エ 目 的 教育長室や談話室、講習室のカーペットは、清掃で除去できないシミや汚れがあり、浮き上がりが見られるため、11月11日の和木町町制施行50周年記念式典までに張替工事を行った。

(5) 和木町総合コミュニティセンター(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

① 和木町総合コミュニティセンター外壁改修工事 工事監理業務

ア 契約金額 1,980,000円

イ 請負業者 (株)松重設計

ウ 業務期間 令和5年7月27日～令和6年3月29日

エ 目 的 和木町総合コミュニティセンター外壁改修工事において、工事が設計図書のとおりを実施されているか照合・確認等を行うための工事監理業務を委託した。

② 和木町総合コミュニティセンター 外壁改修工事(米空母艦載機部隊特別交付金対象事業)

ア 契約金額 87,120,000円(当初契約時)

95,256,700円(変更契約後)

イ 請負業者 (株)大島組

ウ 工事期間 令和5年8月5日～令和6年3月29日

エ 目 的 老朽化した施設の外壁改修を行い、利用者の安全を確保することにより、各種文化活動の向上を図った。

③ 総合コミュニティセンター集中リモコン及びACU-3系統自動制御機器取替工事

ア 契約金額 1,250,040円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 工事期間 令和5年4月26日～令和5年12月28日

エ 目 的 集中コントローラー間伝送異常が発生しており、空調運転の発停・設定変更の管理ができなくなっている。また、還気用ダンパ操作器が故障し、更新が必要となっているため機器を交換した。

④ 総合コミュニティセンターACU-2系統自動制御機器取替工事

ア 契約金額 752,290円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 工事期間 令和5年5月22日～令和6年1月31日

エ 目 的 還気用ダンパ操作器が故障し、送風量バランスが崩れ空調機のダクトの損傷、

室内への異音発生、二酸化炭素濃度の上昇など悪影響が生じるため取替工事を実施した。

⑤ 非常用照明器具取替工事

ア 契約金額 1, 210, 000円

イ 請負業者 (株)宮本電工

ウ 工事期間 令和5年6月7日～令和5年12月28日

エ 目 的 館内の非常照明のうち老朽化により作動不良である30台を交換し、非常時の避難誘導が円滑にできるようにした。

⑥ 総合コミュニティセンター屋内消火ポンプ取替工事

ア 契約金額 5, 478, 000円

イ 請負業者 (株)桐田商会

ウ 業務期間 令和5年8月21日～令和6年3月29日

エ 目 的 消火ポンプが故障し動かず、消火栓ホースから水が出ない状態であるため、初期消火が困難になっているため、早急に取り替えた。

⑦ 総合コミュニティセンター非常用発電機取替工事

ア 契約金額 6, 468, 000円

イ 請負業者 (株)山産 岩国営業所

ウ 工事期間 令和5年4月18日～令和6年3月31日

エ 目 的 非常用発電機が経年劣化により故障し、停電時に消火ポンプが動かないため、本体を取替えた。

(7) 奨学金制度

本町独自の奨学金制度も発足以来55年目を終了し、基金積立額は、総額44,400,876円に達し効果的に活用されている。

経済的困難家庭の子女を対象としている奨学金の貸付状況は、次に示すとおりである。

○ 奨学金貸付状況

年 度	新 規	平 成 2 0 年	平 成 2 1 年	平 成 2 2 年	平 成 2 3 年	平 成 2 4 年	平 成 2 5 年	平 成 2 6 年	平 成 2 7 年	平 成 2 8 年	平 成 2 9 年	平 成 3 0 年	令 和 元 年	令 和 2 年	令 和 3 年	令 和 4 年	令 和 5 年 (見込)
	大 学	2	4	2	8	4	4	2	2	0	1	1	2	3	1	0	0
奨 学 生 額	大 学	3	3	6	7	9	10	10	4	5	2	2	2	4	4	5	2
	計	5	7	8	15	13	14	12	6	5	3	3	4	7	5	5	2
	累 計	565	572	580	595	608	622	634	640	645	648	651	655	662	667	672	674
	高 校	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0
大 学 ・ 高 校 計	大 学	2	0	0	1	2	3	2	4	1	0	0	1	0	1	1	1
	計	2	0	1	2	3	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1
	累 計	168	168	169	171	174	178	182	186	187	188	189	190	191	192	193	194
	大 学	2	4	3	9	5	5	4	2	0	2	2	2	4	1	0	0
貸 付 金	大 学	2,550,000	3,192,000	3,588,000	6,612,000	5,544,000	6,156,000	5,376,000	2,808,000	2,328,000	1,404,000	1,344,000	1,788,000	3,192,000	2,208,000	2,208,000	924,000
	高 校	156,000	0	240,000	480,000	636,000	792,000	708,000	708,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	120,000
	計	2,706,000	3,192,000	3,828,000	7,092,000	6,180,000	6,948,000	6,084,000	3,516,000	2,568,000	1,644,000	1,584,000	2,028,000	3,432,000	2,448,000	2,448,000	1,044,000
	累 計	153,979,000	157,171,000	160,999,000	168,091,000	174,271,000	181,219,000	187,303,000	190,819,000	193,387,000	195,031,000	196,615,000	198,643,000	202,075,000	204,523,000	204,523,000	205,567,000
償 還 額	大 学	2,853,600	2,120,200	1,757,500	1,219,000	1,454,900	3,637,600	3,670,500	3,451,300	5,716,700	3,150,200	3,485,200	3,685,700	3,381,400	2,888,500	3,988,500	2,831,000
	高 校	204,500	121,000	178,500	106,000	73,000	162,000	180,000	328,000	331,000	458,000	630,000	652,500	550,000	390,000	208,000	298,000
	計	3,058,100	2,241,200	1,936,000	1,325,000	1,527,900	3,799,600	3,850,500	3,779,300	6,047,700	3,608,200	4,095,200	4,318,200	3,931,400	3,278,500	4,176,500	3,129,000
	累 計	133,622,300	135,863,500	137,799,500	139,124,500	140,652,400	144,452,000	148,302,500	152,081,800	158,129,500	161,737,700	165,832,900	170,151,100	174,082,500	177,361,000	181,537,500	184,666,500
償 還 完 了 者	大 学	2	3	2	3	1	1	3	0	4	1	3	4	7	1	1	3
	高 校	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3	0	1
	計	2	5	3	3	1	2	3	0	5	1	4	4	9	4	1	4
	累 計	198	203	206	209	210	212	215	215	220	221	225	229	238	242	243	247
基 金 の 額		44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876	44,400,876